

福岡県地球温暖化防止活動推進センター
平成 30 年度事業報告書



平成 31 年 3 月

福岡県地球温暖化防止活動推進センター
(一般財団法人 九州環境管理協会)

一般財団法人九州環境管理協会は、「地球温暖化対策の推進に関する法律（平成 10 年 10 月）」第 38 条に基づき、福岡県知事より「福岡県地球温暖化防止活動推進センター」（以下、「県センター」という。）の指定を受け、今日まで福岡県内の地球温暖化防止対策に関する普及啓発の拠点としての役割を担ってきました。

県センターは、第 1 期（平成 16 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）、第 2 期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）、第 3 期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）、現在の第 4 期（平成 30 年 4 月 1 日～平成 35 年 3 月 31 日）にわたって、福岡県地球温暖化防止活動推進員をはじめ、県内の行政機関と連携しつつ、脱温暖化社会の形成に向けた活動を進めてきました。

県センターは、福岡県の地球温暖化対策に関する「情報発信」及び「活動支援」の拠点としての機能を有し、基本的な活動として「① 情報提供」、「② 広報・啓発」、「③ 活動支援」、「④ 照会・相談」及び「⑤ 調査・研究」の 5 項目を軸に事業展開を行っています（図-1）。また、環境省補助事業の活用により、多岐にわたった事業活動を展開しています。

本報告書は、県センターが実施した平成 30 年度事業の内容及び実績についてとりまとめたものです。



図-1 県センターの役割

目次

1. 地球温暖化対策に関する啓発・広報活動	1
1-1 WEB・情報誌等による情報提供	1
(1) ふくおかエコライフ応援サイトによる温暖化関連情報の発信.....	1
(2) ふくおかエコライフ応援ペーパー「減 CO2 クラブ」の作成、発行.....	2
(3) 福岡県環境家計簿（県民編、事業所編）の作成、配布.....	3
(4) 子ども環境家計簿の作成、配布、集計.....	5
2. 推進員、NPO 等の温暖化防止対策の活動支援	8
2-1 学習教材・啓発資材の貸出と整備	8
2-2 推進員及び推進員地域連絡会等の活動支援	9
(1) 推進員地域連絡会とその支援体制.....	9
(2) 「地域連携エコ活動支援金」による推進員地域連携活動の支援.....	11
(3) 推進員地域連絡会の活動状況.....	13
(4) 推進員活動を支援する「ふくおか環境マイスター」の派遣.....	19
(5) イベント等で使用する景品の整備とエコトングッズの開発.....	20
2-3 講師派遣制度の運用	21
(1) 事業概要.....	21
(2) ふくおか環境マイスター派遣.....	21
(3) エコアドバイザー派遣.....	22
(4) うちエコ診断士の派遣.....	27
2-4 地域の NPO 等の活動支援	28
3. 住民等からの照会・相談対応	29
3-1 県民、事業者、NPO、市町村等からの相談・照会対応	29
(1) 問合せ・来訪者.....	29
(2) 特別講座の開催.....	29
(3) 新聞社からの取材.....	30
(4) 地球温暖化対策実行計画策定委員会等への参加.....	30
4. 温暖化対策に取り組む NPO、企業、行政のネットワーク化	31
4-1 地域環境協議会への参加	31
4-2 地域における省エネ家電買換促進検討会議での話題提供	31
5. 県内の温室効果ガス排出実態の調査・分析	32
5-1 温室効果ガス排出量	32
5-2 二酸化炭素排出量	33

6. エコファミリー応援事業（福岡県委託事業）	35
6-1 業務の概要	35
6-2 業務の実施結果	37
(1) エコファミリー参加・報告数	37
(2) 節電効果	37
(3) CO ₂ 削減効果	37
(4) 今後の課題	38
7. 地域における地球温暖化防止活動促進事業（環境省補助事業）	39
7-1 地球温暖化対策の現状及び進捗状況に関する啓発・広報業務	39
(1) 環境エコ講座の開催	39
(2) 啓発パネルの作成	41
(3) COOL CHOICE の紙芝居の作成	43
(4) COOL CHOICE 賛同票の回収	43
7-2 地域地球温暖化防止活動推進員の支援	44
(1) 推進員研修会の開催	44
(2) 推進員対象 OJT 研修	45
(3) 推進員相談窓口の設置	45
(4) 地域への広報	45
7-3 日常生活に関する温室効果ガス排出抑制措置等についての相談対応、助言	46
(1) うちエコ診断の概要	46
(2) うちエコ診断受診希望者の募集	47
(3) うちエコ診断士フォローアップ研修会開催	47
(4) 事業の実績及び効果	48
8. 平成 30 年度福岡県地球温暖化防止活動推進センター事業結果（総括）	49

1. 地球温暖化対策に関する啓発・広報活動

1-1 WEB・情報誌等による情報提供

(1) ふくおかエコライフ応援サイトによる温暖化関連情報の発信

県センターのホームページは、平成22年7月から福岡県「ふくおかエコライフ応援サイト」と統合し、共同運用を図りながら、県民に対して温暖化関連情報や県センター事業に関する情報提供を行っています。

平成30年3月から平成31年2月までのアクセス数は年間約168万件（日換算4,614件）であり、昨年度の実績（4,449件）を上回り、微増傾向にあります（図-2）。また、月別には3月が最もアクセス数が多くなっています（図-3）。

今年度サイト内で検索されたキーワードのうち、検策件数の多かった第1位は「応援サポート」、2位は「協賛店情報」「地球温暖化」、3位は「貸出」「表彰」でした。こうした利用者の傾向をもとに、来年度も利用者の目線に立ち、充実した情報を提供できるページの運用を目指していきます。

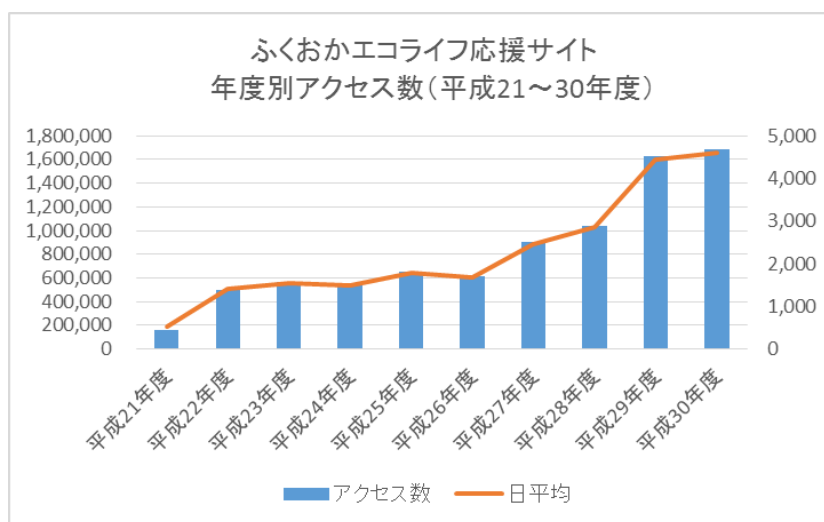


図-2 「ふくおかエコライフ応援サイト」の年度別アクセス数

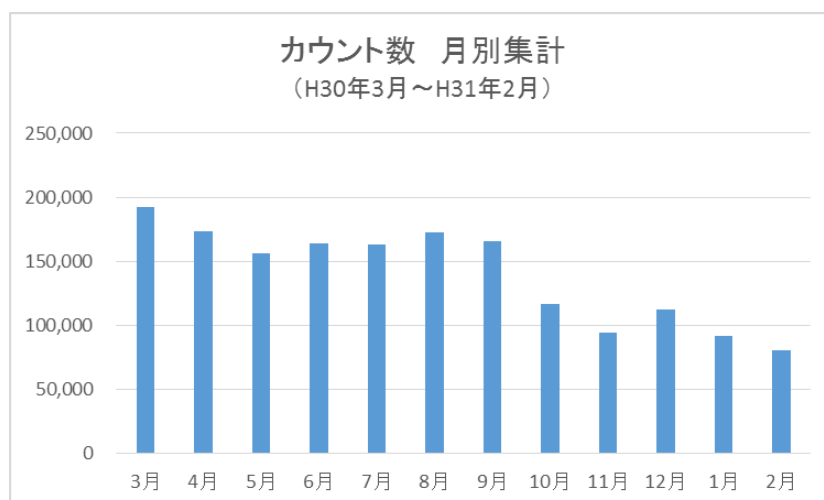


図-3 「ふくおかエコライフ応援サイト」の月別アクセス数の推移

(2) ふくおかエコライフ応援ペーパー「減CO2クラブ」の作成、発行

地球温暖化や気候変動等について広く県民に情報提供を行う冊子「減CO2クラブ」を2,000部作成しました(図-4、5)。

紙面では、表表紙に「気候変動の影響への適応」と題し、近年話題となっている適応策について紹介しました。また特集として「地球温暖化防止活動推進員活動とSDGs」と題し、福岡県環境総合ビジョンでも取り上げられたSDGsの視点から推進員活動について再考し、今後の推進員活動の更なる広がりを促しました。

「減CO2クラブ」は、推進員や県内自治体等に配布したほか、地域イベント等で直接県民に配布予定です(表-1)。

表-1 「減CO2クラブ」の配布予定数

配布先	配布数
県(本庁、環境事務所)	140
県内市町村	1,200
推進員、環境マイスター	99
イベント等	561
合計	2,000



図-4 「減CO2クラブ」の紙面



地球温暖化防止活動推進員活動とSDGs

SDGs とは

SDGs とは、「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」のことで、2015 年 9 月、193 の国連加盟国の全会一致で採択された国際目標です。教育や経済などの幅広い解決を包括して、先進国も含めた全ての国が関わって解決していく目標と位置づけられています。

SDGs は、社会が抱える問題を解決し、世界全体で 2030 年を目標として掲げた未来を作るために、17 のゴールと 169 のターゲットで構成されています。

地球温暖化対策に関連するゴールとして、「福岡県環境総合ビジョン」では重点プロジェクトの 1 つ「低炭素社会の推進」の中で 15 のゴールが関連しているとしています。



推進員活動に関連する SDGs

SDGs の 17 のゴールのうち、推進員活動に関連するものとして次の 8 ゴールが考えられます。

地球温暖化対策推進法に基づく推進員の活動は、水循環の目標 (目標 6) にある国民への啓発にあることは言うまでもありません (目標 3)。推進員の中にはエコアドバイザー (講師) となって小学生や高校生に地球温暖化防止の授業を行っている (目標 4)。推進員の中にはエコ講師として、家庭の省エネや太陽光発電等の省エネを指導しています (目標 7)。エコドライブや公共交通機関の利用への啓発に対する啓発による交通安全の改善、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供しています (目標 11)。

また、ごみの減量やリサイクル、食品ロスに関する啓発活動は持続可能な消費に関与します (目標 12)。推進員活動は地球温暖化防止に関する知識の普及並びに啓蒙の促進であり、まさに気候変動対策の根拠となる啓蒙といえます (目標 13)。森林の適正な管理は、気候変動対策につながるとともに、多様な生態系の保護にも繋がります。推進員の中には地域生態系の保全に貢献した活動をされている方もいます (目標 15)。推進員活動は、福井県、青森県、NPO、事業所及びセンターとの協働で行われています (目標 17)。

目標3 (健康) あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する	目標12 (持続可能な消費と生産) 消費を可能な生産消費形態に確保する
目標4 (教育) すべての人に高質かつ公正な教育の機会を提供し、生涯学習の機会を促進する	目標13 (気候変動) 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
目標7 (エネルギー) すべての人に、安価かつ信頼できる持続可能な低炭素エネルギーへのアクセスを確保する	目標15 (陸上生態系) 陸地生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な開発のための生態系サービスの向上、陸地の持続可能な管理を促進する
目標11 (持続可能な都市) 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する	目標17 (パートナーシップ) 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを促進する

SDGs を紐付ける

これまで実施してきた推進員に関する活動がそのまま SDGs の範囲につながることもあれば、「持続可能な事業活動」という観点で見直すことによって、各ゴールとの関係性を把握することもできます。このように、自分たちの活動と SDGs を紐付けると、その関係性がより明確になるだけでなく、それを強く認識することで、個別的な目標を自分たちの目標として意識するきっかけになるのではないのでしょうか。

ここでは、先に掲げた推進員活動の SDGs の関連図を「福岡県環境総合ビジョン」に照らして作成してみました。推進員は自ら自覚のような活動を行っているのが課題を整理し、取組内容を整理し機会にしています。



図-5 「減 CO2 クラブ」の紙面

(3) 福岡県環境家計簿 (県民編、事業所編) の作成、配布

県センターでは、福岡県と福岡県環境県民会議 (県民団体、事業団体、行政で構成) の 3 者で協力し、福岡県独自の環境家計簿「ふくおかエコライフ応援 book」(県民編) と「ふくおかエコ事業所応援 book」(エコ事業所編) を作成し、家庭や事業所の省エネルギー行動を手助けするツールとして県民及び一般事業者を提供しています。

また、県センターのホームページを平成 22 年 7 月から県の「ふくおかエコライフ応援サイト」に統合して、エコファミリー、エコ事業所の環境家計簿の記帳を web 上でできるようにし、電子化を進めています。

福岡県環境家計簿 (県民編) については、インターネット環境を持たない県民やグループで取り組んでいるエコファミリーを対象として、紙媒体の環境家計簿を継続的に作成しています。一昨年度より利便性を高めるためカレンダー形式に刷新し、今年度もこの形式を継続して、記載内容に対して軽微な変更を行いました。

一般家庭向けの環境家計簿「ふくおかエコライフ応援 book」2019 年度版 (記帳欄は 4 月～翌年 3 月までの 12 ヶ月) を 7,000 部作成しました (図-6)。

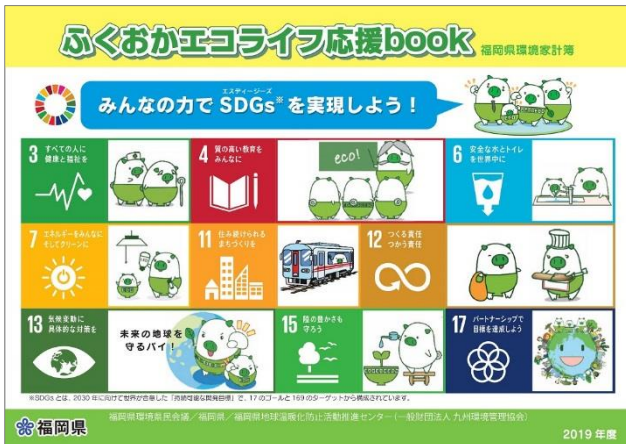


図-6 「ふくおかエコライフ応援 book」 2019 年度版

エコ事業所向け環境家計簿「ふくおかエコ事業所応援 book」2018 年度版については、2017 年版を更新して原稿作成を行い、福岡県「ふくおかエコライフ応援サイト」に掲載して、エコ事業所が自由にダウンロードできるようにしました。ダウンロード数は延べ 219 回で、2017 年度版より 60%程度少なくなりました。

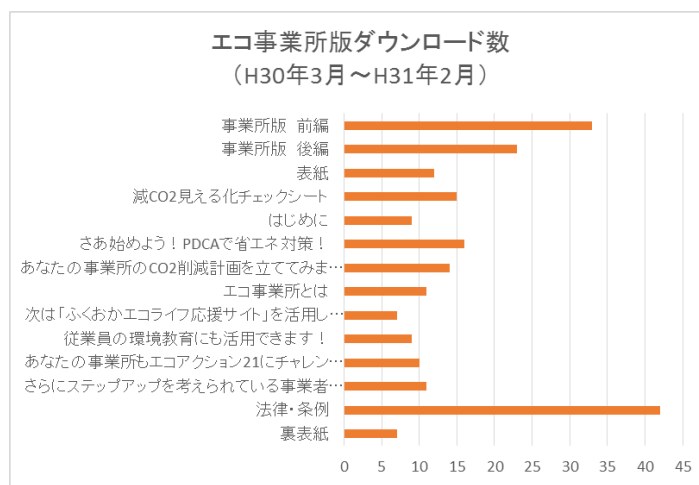


図-7 ふくおかエコ事業所応援 book 2018 年度版ダウンロード数

(4) 子ども環境家計簿の作成、配布、集計

県センターでは各地域保健福祉環境事務所と共同し、夏休みもしくは冬休みの期間中に小学生を対象に子ども環境家計簿（通常版）を配布して、小学生とその家族への家庭での省エネの取組みを促しています。取組み後はエコチェックシートを回収し、実施した項目によるCO2削減量を試算して、事業実施による効果としています。今年度は紙面の見直しを行い、裏表紙の紙面変更と取組み項目の一部変更を行いました。

裏表紙の紙面変更では、「家族みんなでLet'sエコチャレンジ！」の4つの項目を、「他にも、もっとできるエコ」とし、エコドライブの方法及び、窓の断熱に変更しました（図-8）。

表-2 「子ども環境家計簿」実施によるCO2削減量

取組み項目の一部変更では、
①「手や顔を洗う時や、歯みがきの時は、水を流しっぱなしにしないようにしましょう」を「シャワーを流す時間を1分短くしよう」に変更、③「テレビやゲーム機を使っていない時は、本体の電源を切るか、コンセントを抜こう」を「冷ぞう庫はなるべくあけず、あけてもすぐにしめよう」に変更しました（図-9）。

地域名	提出小学校数	報告児童数	みなし削減量 (t-CO ₂ /年)
福岡・筑紫	8	242	18.42
宗像・遠賀	14	697	53.39
北九州・京築	6	121	5.58
嘉穂・鞍手	4	148	10.80
久留米・北筑後	7	50	3.43
大牟田・南筑後	7	228	16.84
センター	7	146	4.86
計	53	1,632	113.33

今年度は県内全体で約8,000部を配布、計1,632部を回収しました。子ども環境家計簿実施によるCO2削減量は表-2のとおりです。

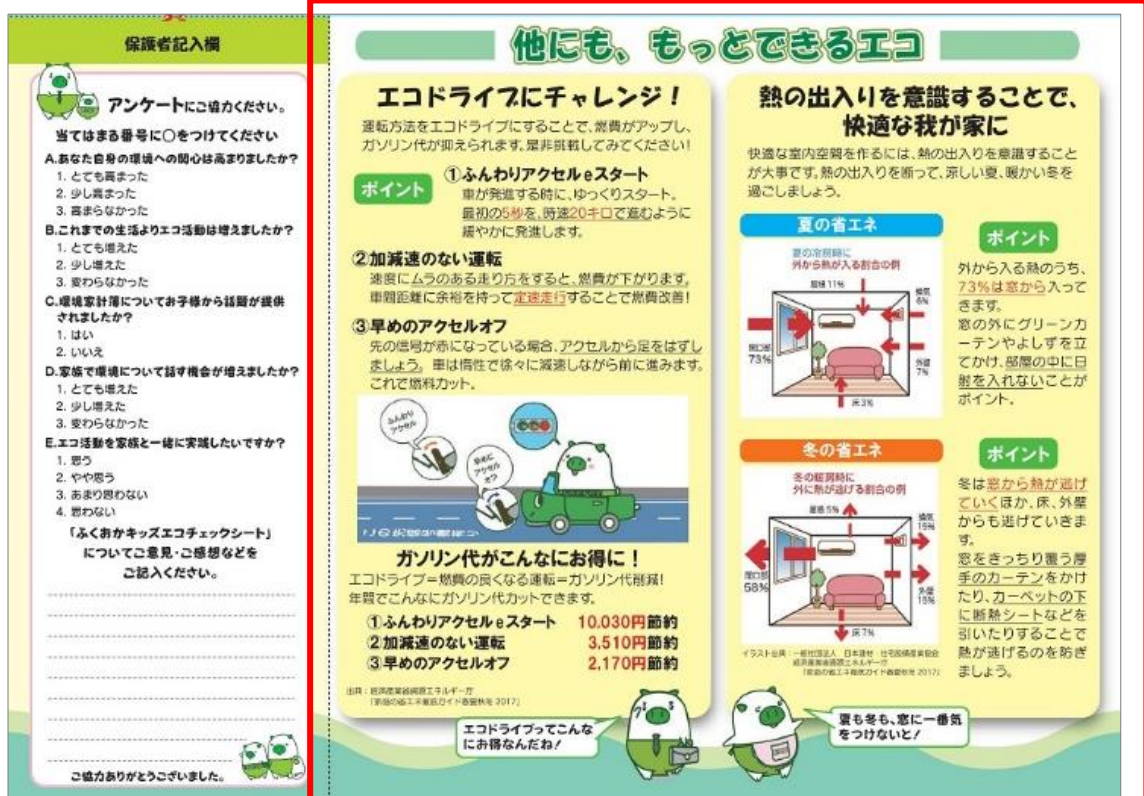


図-8 「子ども環境家計簿」裏表紙

～地球温暖化問題って何?～

博士「ちょっと待って、エコトン。CO₂などの温室効果ガスはなくなったら困るんだよ。温室効果ガスのおかげで、地球はちょうどいい暖かさでいられた。でも、温室効果ガスが増えると、地球はどんどん暑くなっていく。このままだと、2100年には平均気温が4.8℃も上がるといわれているよ。これを地球温暖化というんだよ。」

エコトン「暑くてたまらない!」

～地球が温暖化すると、どうなるの?～

でもさ～、ボク、暑いのが好き!地球が暖かくなると、いつでも海で泳いだり、山でキャンプしたりできて、楽しそう!

なにを言ってるんだい!地球が暖かくなると、氷河や南極の氷が溶けて、海岸近くの町や小さな島は海に沈んでしまうかもしれないだよ!それに洪水や干ばつなど、気候の異常が増えるって言われているんだ。日本では大型台風や集中豪雨が増えたり、お米などの農作物が育たなくなったり、今までにはなかった生きものたちによる被害が増えることも心配されているんだ。

エコトン「洪水」

博士「干ばつ」

～二酸化炭素はどうして増えるの?～

CO₂が増えると、大変なことが起こるんだね。マモンから聞いたけど、テレビを見るとCO₂がでるんだよね。ん?博士、CO₂ってテレビから出てるの?

CO₂は石炭や石油などを燃やすときにでるんだ。燃やせば燃やすほどCO₂が大气中に増えて、地球をどんどん暖かくしてしまう。私たちの生活の中で使っている電気は、発電所で石炭や石油などを燃やして作っているのだから、私たちが電気を使えばCO₂を出していることになるんだ。また、使った水をきれいしたり、ゴミを燃やしたりするときにもCO₂が出てくるんだ。

エコトン「地球温暖化問題の解決には、一人一人の取り組みがとっても大事なんだ。まずは一週間、エコチェックシートをつけて、エコに取り組んでみよう!」

ふくおか キッズ エコチェックシート

1日の終わりに今日できた取り組みには エコトンシールを貼ろう!

月	日	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	1週間の合計
1	シャワーを流す時間を1分短くしよう。	エコトンシールを貼ろう!	エコトンシールを貼ろう!	エコトンシールを貼ろう!	エコトンシールを貼ろう!	エコトンシールを貼ろう!	エコトンシールを貼ろう!	エコトンシールを貼ろう!	エコトンシールを貼ろう!
2	テレビは見たい番組だけを見るようにしてつけっぱなしにしないようにしよう。	エコトンシールを貼ろう!	エコトンシールを貼ろう!	エコトンシールを貼ろう!	エコトンシールを貼ろう!	エコトンシールを貼ろう!	エコトンシールを貼ろう!	エコトンシールを貼ろう!	エコトンシールを貼ろう!
3	冷凍庫はなるべくあけず、あけてもすぐにしめよう。	エコトンシールを貼ろう!	エコトンシールを貼ろう!	エコトンシールを貼ろう!	エコトンシールを貼ろう!	エコトンシールを貼ろう!	エコトンシールを貼ろう!	エコトンシールを貼ろう!	エコトンシールを貼ろう!
4	使っていない部屋の電気は、こまめに消そう。	エコトンシールを貼ろう!	エコトンシールを貼ろう!	エコトンシールを貼ろう!	エコトンシールを貼ろう!	エコトンシールを貼ろう!	エコトンシールを貼ろう!	エコトンシールを貼ろう!	エコトンシールを貼ろう!
5	エアコンの設定温度を夏は1℃高く、冬は1℃低くしよう。(室内温度目安:夏28℃、冬20℃)	エコトンシールを貼ろう!	エコトンシールを貼ろう!	エコトンシールを貼ろう!	エコトンシールを貼ろう!	エコトンシールを貼ろう!	エコトンシールを貼ろう!	エコトンシールを貼ろう!	エコトンシールを貼ろう!

1日の合計
1日に取り組めた点数を記入してね!
エコトンシール1個につき1点だよ。
5点: エコDay 4~2点: あつうDay 1~0点: 自己Day
旅行などに行って、家の電気を使わなかった日は取り組めたことにしていま。

アンケートにご協力ください。

当てはまる番号に○をつけてね!

A.環境についてもっと知りたいと思いませんか?
1. そう思う
2. 少し思う
3. 思わない

B.これからもエコ活動に取り組みたいと思いませんか?
1. そう思う
2. 少し思う
3. 思わなかった

C.環境に関する知識が増えましたか?
1. とても増えた
2. 少し増えた
3. 変わらなかった

D.これからもエコチェックシートをつけてみたいですか?
1. つけたい
2. あればつけたい
3. つけたくない

取り組んだ感想を書いてね♪

ご協力ありがとうございました。

1. シャワーを流す時間を1分短くしよう (X)

2. テレビは見たい番組だけを見るようにしてつけっぱなしにしないようにしよう (X)

3. 冷凍庫はなるべくあけず、あけてもすぐにしめよう (O)

4. 使っていない部屋の電気は、こまめに消そう (O)

5. エアコンの設定温度を夏は1℃高く、冬は1℃低くしよう (O)

ふりがない
なまえ
名前
学校や幼稚園・保育園の名前
学年 年 組 番

図-9 「子ども環境家計簿」の紙面

子ども環境家計簿の取組では、エコ活動を実践した子どもたちと保護者にそれぞれアンケートを実施しています（図-10、11）。

アンケート結果から、家庭内で子ども環境家計簿を実践することは、子どもたちに普段の生活の中でエコを心がけるきっかけとなること、そしてその影響は保護者にも及ぶことがあることがわかります。

県センターでは今後も引き続き子ども環境家計簿を配布し、子どもたち、そしてその家族に対しエコ活動の実践を促していきます。

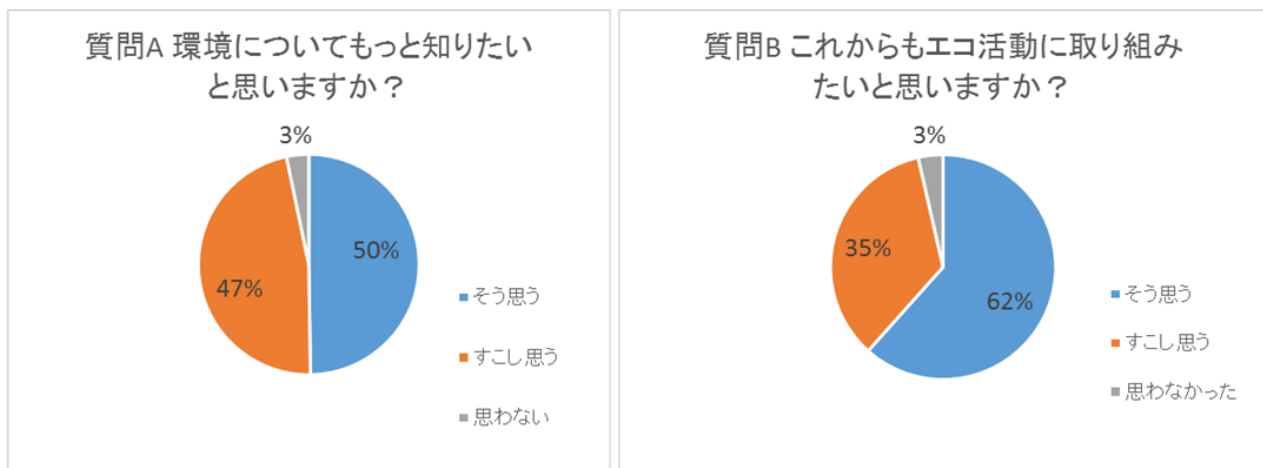


図-10 アンケート結果（子ども：一部抜粋）

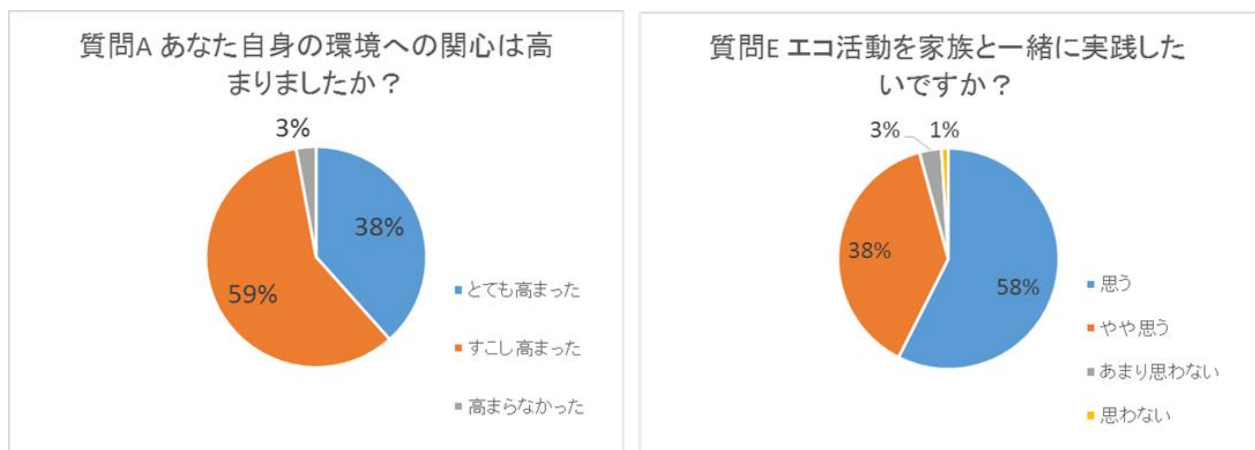


図-11 アンケート結果（保護者：一部抜粋）

2. 推進員、NPO 等の温暖化防止対策の活動支援

2-1 学習教材・啓発資材の貸出と整備

県センターでは、地域の温暖化対策活動を支援するため、学習教材・啓発資材（図書、DVD、パネル、紙芝居、ワットアワーメーター等）の貸出、整備を行っています。

エコトンの着ぐるみは、福岡県が管理するエコトン1号と、県センターが管理するバルーン型のエコトン2号、3号の三体があります。なお、エコトン2号、3号については、今年度各1回のクリーニングを行いました。

啓発活動資材の項目別の延べ貸出回数は教材が29回、パネルが24回、紙芝居・パネルシアターが14回、その他が41回でした（表-3）。

上記以外の大型資材の貸出として、「エコトンの着ぐるみ」が47件（昨年度35件、いずれも福岡県環境保全課利用分を含まず）と貸出件数が昨年度より増えており、エコトン認知度の向上に貢献しています。

また、一昨年度作製したエコトン等身大パネルも昨年度に比べ貸出件数が増えています（昨年度5回）。屋外でも大きく目を引く上、着ぐるみのように人員が不要なため、今後も推進員に積極的な活用を呼びかけます。

啓発資材に関する問い合わせのうち、「講座等で県民が気軽に見ることができる地球温暖化に関するDVD等がないか」との問い合わせがありますが、県センターにはこの要望に対し貸出可能なDVDが2本程度しかありません。次年度はそうした要望に応えられる教材の購入を積極的に行います。

表-3 平成30年度の貸出資材（DVD、パネル、計測機器等）上位5項目

No.	教材	回数	啓発パネル	回数	紙芝居	回数	その他	回数
1	LED、電球エネルギー比較実験器	6	気候変動	10	エコトンの地球がたいへん	4	パネルクイズセット（ガラボン抽選器）	11
2	LED、白熱、蛍光灯エネルギー比較実験器	5	地球温暖化ってなんだろう	6	地球温暖化ってなあに	4	のぼり旗、横断幕	9
3	家庭のエコ	3	エコトンファミリーの減CO2大作戦	5	パネルシアター	4	スタッフジャンパー	9
4	—		3つのR	2	エコトンファミリーのエコチャレンジ	1	エコトンパネル	8
5	—		つながっている、私たちの暮らしと地球環境問題	1	食育編	1	サインボード	4
	その他	15	その他	0	その他	0	その他	0
合計		29		24		14		41

2-2 推進員及び推進員地域連絡会等の活動支援

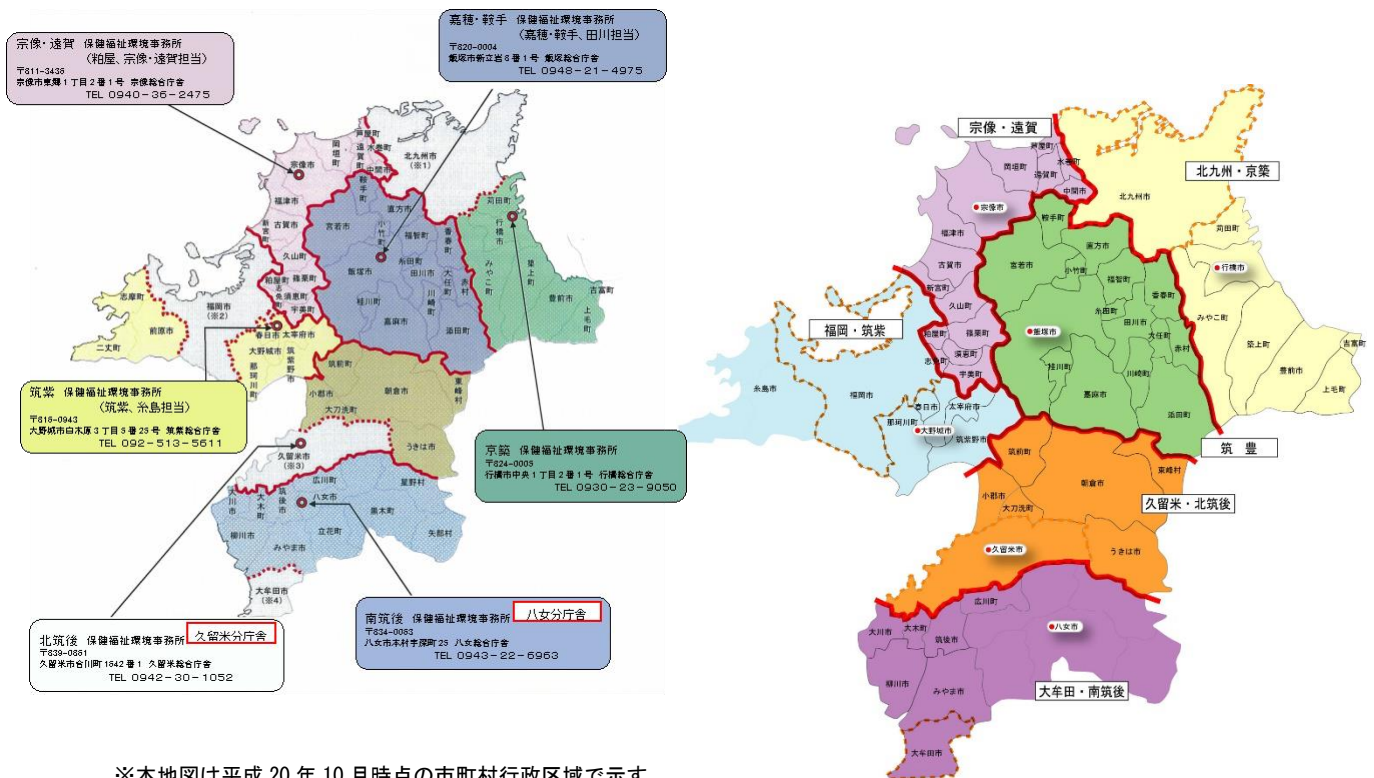
(1) 推進員地域連絡会とその支援体制

県センターでは、平成 21 年 10 月の県保健福祉環境事務所再編に合わせて、各事務所の環境部門が所管する 6 地域（市町村）をベースに、政令市や中核市等を含めた地域区分を行いました。県保健福祉環境事務所を中心とした行政と推進員間の連携強化を図る目的で、6 つの推進員地域連絡会を設置し、地域特性を踏まえた推進員の連携活動を支援する体制を構築しています（図-12、13、表-4）。

<推進員地域連絡会の主な設置目的>

- ・ 推進員同士や行政と推進員の情報・意見交換の場づくり
- ・ 地域特性を踏まえた推進員活動の企画・調整・実施
- ・ その他、推進員活動の推進に係わる事項の検討の場

県保健福祉環境事務所では、管轄地域の地球温暖化対策を推進するために、管内市町村の担当者や推進員リーダー等を構成員とする地球温暖化対策協議会を設置し、連絡調整を行っています。



※本地図は平成 20 年 10 月時点の市町村行政区域で示す。

図-12 県保健福祉環境事務所の管轄地域

図-13 推進員地域連絡会の地域区分

表-4 推進員地域連絡会の構成等

(平成31年3月現在)

地域連絡会名	所属推進員	推進員リーダー	サブリーダー	地域の環境マイスター
福岡・筑紫	13名	山田恵美	坂本朱美	—
宗像・遠賀	15名	丸尾哲郎	田口一馬、占部美保	越智信雄、佐藤直美
北九州・京築	20名	川島伸治	石角聡、松岡麻利子	—
嘉穂・鞍手	25名	袖崎隆子	星野フチ子、高木厚	依田浩敏
久留米・北筑後	13名	小田好一	高倉保之、宮崎誠	宮寺健
大牟田・南筑後	8名	石橋貞子	矢加部茂晴	荒木フサエ
6地域	94名	6名	10名	5名

県及び県保健福祉環境事務所、県センターでは、推進員活動を支援する体制を整備しています（図-14）。

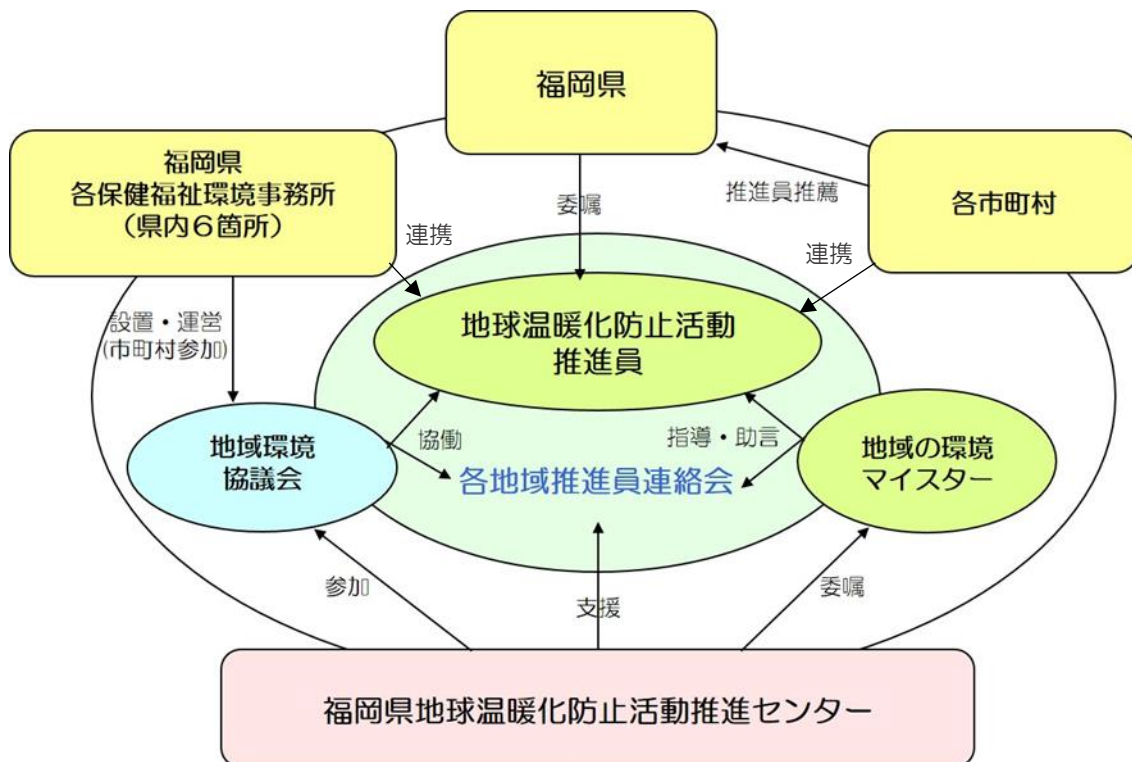


図-14 推進員の活動支援体制イメージ図

(2) 「地域連携エコ活動支援金」による推進員地域連携活動の支援

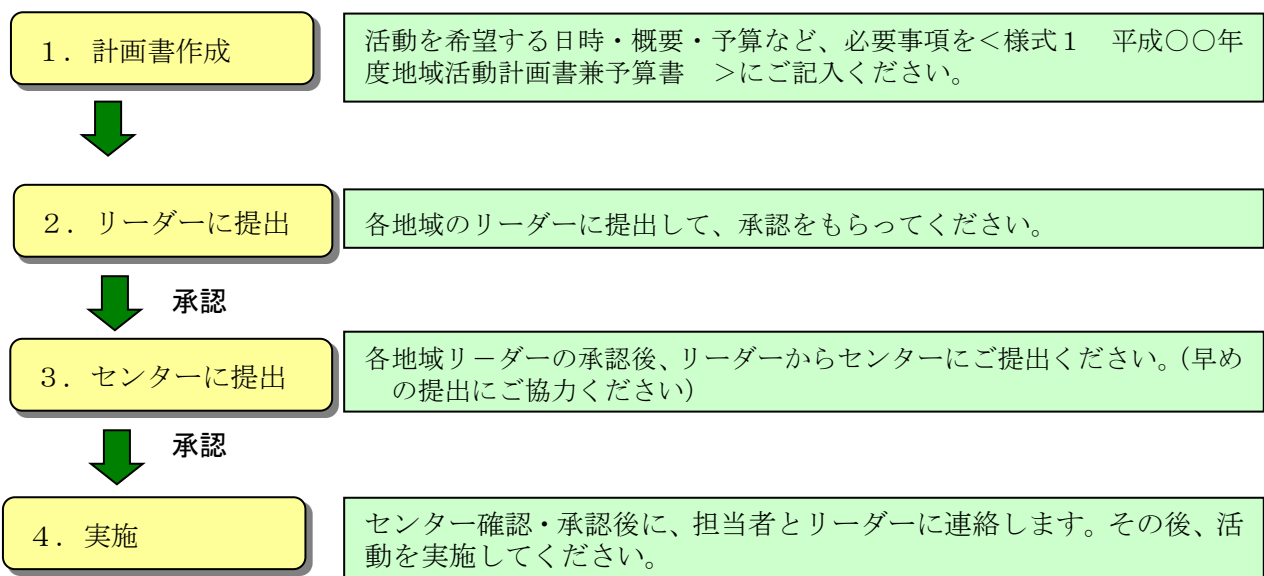
推進員地域連絡会で決定した地域協働で行う地球温暖化防止に寄与する普及啓発活動に対して、「地域連携エコ活動支援金」を活用して推進員の地域連携活動を支援しています。

この「地域連携エコ活動支援金」は、推進員が県保健福祉環境事務所や関係自治体との連携協力のもと、地域特性を活かした実効的で主体性のある活動を展開できるよう資金面での支援を行うものです。

なお、資金の活用や運用については次のようにルールを決めています（表-5、図-15）。

表-5 地域連携エコ活動支援金の運用ルール

対象とする活動	<ul style="list-style-type: none">・ 県内6つの推進員地域連絡会が、企画・実施する地球温暖化防止に寄与する地域活動（各地域連絡会から提出された地域活動計画書に基づく活動と経費）を支援の対象とします。・ 地域活動計画を協議・決定する際には、推進員リーダー及び推進員サブリーダーが予算や地域配分を考慮し、確認した後、県センター長が承認することを条件とします。 ※事後での承認は、行いません。
支援金の限度額	<ul style="list-style-type: none">・ 各地域連絡会に対し年間25万円（税込み）とします。
支援対象経費	<ul style="list-style-type: none">・ 地域活動を行うために必要な以下の経費を対象とします。① 推進員等の交通費② 講師等の日当、交通費③ 景品等の消耗品費（3千円上限）④ コピー、ポスター作成用の印刷製本費⑤ 資材・郵便等の通信運搬費⑥ レンタカーや機材・装置等の借料・損料⑦ 会議費⑧ 外部アルバイト等の日当、交通費⑨ 会場設営等の委託費⑩ その他必要な経費で県センター長が認めたもの ※食料費や協賛金等には使用できません。



<報告書提出の手順>

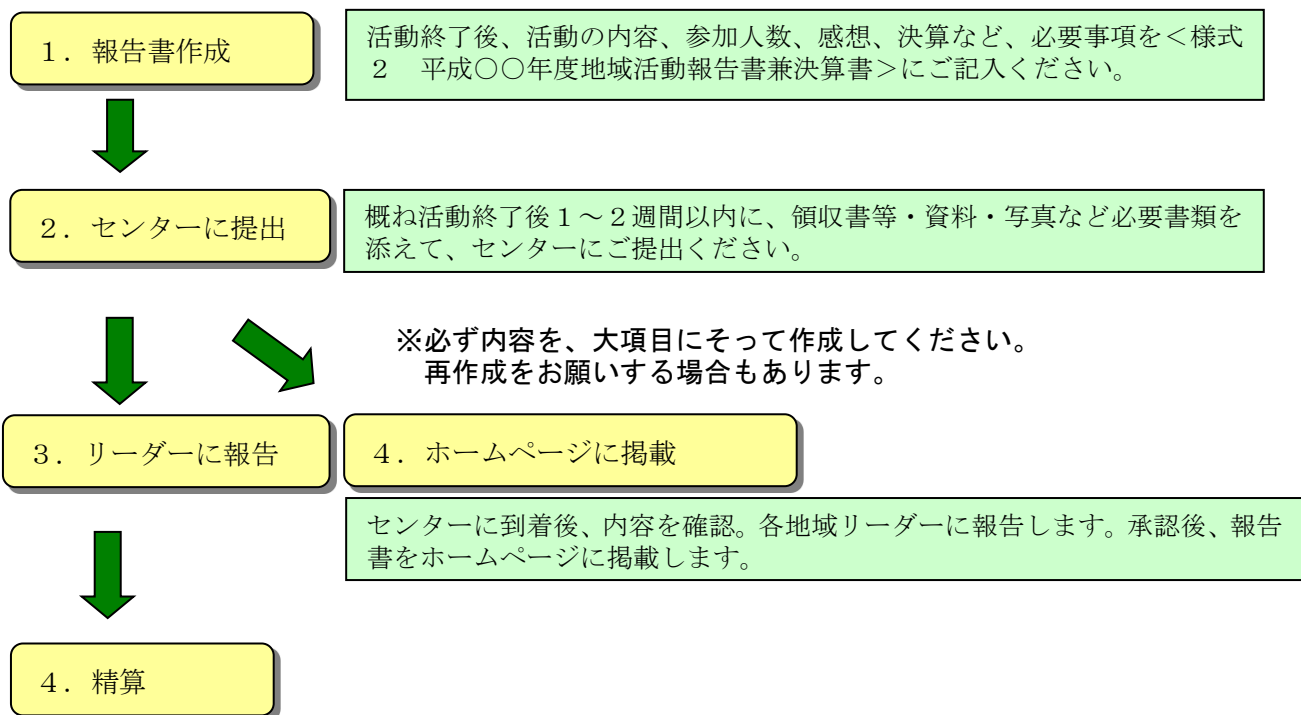


図-15 地域活動計画書及び報告書の提出手順

(3) 推進員地域連絡会の活動状況

県内6地域において、推進員地域連絡会が毎年度2~3回開催されています。推進員地域連絡会では市町村単位で行われる地域イベントの計画や実績報告、並びに推進員相互で情報交換が行われています。各地域の推進員地域連絡会の活動状況は以下のとおりです。

【福岡・筑紫地域推進員連絡会】

福岡・筑紫地域は、自治体職員と兼務する推進員が多く、推進員連絡会に全員が一堂に会する機会が少ないことが課題といえます。

平成30年度は台風接近により集客人数の多いイベント2つが中止となりました(表-6、図-16)。



図-16 第2回推進員連絡会開催の様子

表-6 福岡・筑紫地域の推進員地域連絡会の活動実績

NO	活動名	活動日	活動場所	活動内容	参加者数(人)	CO2削減効果(t-GO2/年)
	第1回連絡会	平成30年6月7日	筑紫総合庁舎	・本年度活動内容について	13	-
	第2回連絡会	平成30年8月29日	筑紫総合庁舎	・本年度地域活動計画 ・その他	13	-
	第3回連絡会	平成31年1月31日	筑紫総合庁舎	・本年度地域活動報告 ・その他	13	-
1	手をつなぐ糸島市民のつどい	平成30年6月16日	伊都文化会館	・パネルクイズ	67	9.2
2	「お絵かき&打ち水大作戦inちくしの」における節水に関する啓発	平成30年8月1日	筑紫野市生涯学習センター	・打ち水 ・水タワーを使用したクイズ ・エコファミリー募集	50	6.9
3	親子星空観察会での地球温暖化に関する啓発	平成30年8月17日	筑紫野市総合福祉センター	・温暖化に関するクイズ他 ・星空観察	32	4.4
4	いとしまハテナ博	平成30年9月17日	交流プラザニ文館(糸島市)	・パネルクイズ	400	55.2
5	糸島市民まつり	平成30年9月29・30日	糸島市役所 旧志摩庁舎	※台風接近により中止	-	-
6	春日環境フェア	平成30年9月30日	春日市役所 1階市民ホール	※台風接近により中止	-	-
7	まどかフェスティバル	平成30年11月3・4日	大野城市まどかびあ	・エコファミリー募集 ・山の自然素材を使った工作等	566	78.1
合 計					1,154	153.9

【宗像・遠賀地域推進員連絡会】

宗像・遠賀地域は、第1回推進員連絡会には、推進員と市町村の担当者が原則同席するようになっており、推進員と行政との連携が図られている地域といえます。

今年度は生き物観察や自転車発電、再エネ機材の展示など、ただ見るだけでなく体験ができるイベントがいくつか開催されました（表-7、図-17）。



図-17 第1回推進員連絡会開催の様子

表-7 宗像・遠賀地域の推進員地域連絡会の活動実績

NO	活動名	活動日	活動場所	活動内容	参加者数 (人)	CO2削減効果 (t-CO2/年)
	第1回連絡会	平成30年5月23日	宗像総合庁舎（宗像・遠賀保健福祉環境事務所）	・活動の振り返りと新年度の地域活動について	31	-
	第2回連絡会	平成30年9月19日	福津市立福岡会館	・各市町での地域活動報告について	29	-
	第3回連絡会	平成31年2月20日	福津市立福岡会館	・平成30年度地域活動報告 ・意見交換会	15	-
1	おんがこどもまつり （エコロジックパーク'18）	平成30年4月29日	遠賀総合運動公園	・パネルクイズ ・エコファミリー募集	384	53.0
2	第11回 20,000本のおんがキャン ドルナイト	平成30年6月2日	遠賀町役場北側駐車場と遠賀町立 図書館	・パネルクイズ	671	92.6
3	環境出前講座	平成30年6月16日	猪熊小学校	・エコ出前講座 ・エコファミリー募集	60	8.3
4	節電・省エネ 我が家のエコライ フ	平成30年6月17日	宗像市 JA本所体育館	・エコ活動や地球温暖化についての説明 ・エコファミリー募集	89	12.3
5	「古賀市うちエコ診断会」受診者 募集活動	平成30年7月14日	リーバスプラザ古賀	・うちエコの紹介、募集	10	1.4
6	「田んぼの学校」お話しと観察	平成30年7月31日	的野公民館・的野の田んぼ（新宮 町）	・生き物観察 ・エコファミリー募集	19	2.6
7	古賀市うちエコ診断会 受診者募 集活動	平成30年8月25日	リーバスプラザ古賀	・うちエコの紹介、募集	10	1.4
8	環境出前講座	平成30年9月5日	吉田小学校	・エコ出前講座	30	4.1
9	まつり岡垣	平成30年10月21日	岡垣サンリーアイ	・パネルクイズ ・エコファミリー募集	200	27.6
10	水巻町コスモスまつり	平成30年10月27・28 日	みどりんばあーく	・パネルクイズ ・自転車発電体験 ・エコファミリー募集	400	55.2
11	篠栗町文化祭	平成30年10月28日	クリエイト篠栗	・パネルクイズ ・リサイクル工作	260	35.9
12	ふみの里学びの森フェスタ	平成30年11月18日	宇美町住民福祉センター	・パネルクイズ ・エコファミリー募集	300	41.4
13	「古賀市簡易うちエコ診断」受診者募 集活動	平成30年11月18日	古賀市役所駐車場 まつり古賀環境課ブース	・簡易うちエコ診断および通常うちエコ診断予約受付 ・クールチョイス賛同呼びかけ	13	1.8
14	宗像環境フェスタ2018	平成30年11月23日	メイトム宗像	・パネルクイズ ・エコファミリー募集	500	69.0
15	芦屋町人権まつり	平成30年12月8日	芦屋町民会館	・パネルクイズ ・ダンボールコンポスト展示 ・LED輪投げ	100	13.8
16	親子で楽しむ再生可能エネルギー体 験(環境フォーラムinふくつ)	平成30年12月15日	イオンモール福津2F イオンホール	・パネルの展示 ・再生可能エネルギー体験	100	13.8
合 計					3,221	434.1

【北九州・京築地域推進員連絡会】

北九州・京築地域は、推進員連絡会には行政と一緒に参加しており、行政との連携が図られている地域です。

今年度は、県内で来場人数が最も多いイベントのひとつである北九州エコライフステージが台風接近により中止となりました。(表-8、図-18)。



図-18 第1回推進員連絡会開催の様子

表-8 北九州・京築地域の推進員地域連絡会の活動実績

NO	活動名	活動日	活動場所	活動内容	参加者数 (人)	CO2削減効果 (t-CO2/年)
	第1回連絡会	平成30年5月28日	行橋総合庁舎	・自己紹介 ・平成30年度地域連絡会活動計画について	21	-
	第2回連絡会	平成31年2月18日	行橋総合庁舎	・平成30年度地域連絡会活動報告について ・その他	18	-
1	未来ホテルデー2018	平成30年6月9・10日	北九州市環境ミュージアム	・パネルを展示し、北九州市環境ミュージアムと協働でクイズラリーを実施	1,000	138
2	北九州エコライフステージ2018	平成30年10月6・7日	北九州市役所及びりバーウォーク周辺広場	※台風接近により中止	-	-
3	築上祭り	平成30年10月21日	アグリパーク	・パネルクイズ ・エコファミリー募集	100	13.8
4	第36回ゆくはし福祉まつり	平成30年10月28日	ウイズ行橋	・パネルクイズ ・エコファミリー募集	260	35.88
5	カラス天狗祭り	平成30年10月28日	豊前市フレスポくぼてんタウン横	・パネルクイズ ・エコファミリー募集	120	16.56
6	ふるさと苅田地産地消フェア2018	平成30年12月2日	苅田町役場東側駐車場	・パネルクイズ ・エコファミリー募集	500	69
合 計					2,019	273.2

【筑豊地域推進員連絡会】

筑豊地域は、6地域の中で最も人数が多く、各市町村での活動も活発です。

今年度は筑豊地域全体でイベントに参加しようということで、平成31年2月9日に開催された「エコスタいいづか」には飯塚市外からも推進員がイベントに参加しました（表-9、図-19）。



図-19 第1回推進員連絡会開催の様子

表-9 筑豊地域の推進員地域連絡会の活動実績

NO	活動名	活動日	活動場所	活動内容	参加者数(人)	CO2削減効果(t-CO2/年)
	第1回連絡会	平成30年5月29日	飯塚総合庁舎	・各市町村の行事及び推進員活動について ・活動計画書兼予算書について	25	-
	第2回連絡会	平成31年2月21日	飯塚総合庁舎	・平成30年度活動報告のまとめ ・その他	27	-
1	平成30年度活動計画	平成30年5月15日	福智町金田 松山推進員宅	・本年度計画について	5	-
2	ゴーヤの植え付け会	平成30年6月2日	飯塚市役所	・ゴーヤの苗の配布	150	20.7
3	第1回リーダー会	平成30年6月19日	嘉穂保健所 会議室	・今年度の事業について	5	-
4	打ち水大作戦	平成30年7月24日	田川市市民会館玄関前	・打ち水	80	11.0
5	打ち水大作戦inいいづか	平成30年8月1日	新飯塚駅前ロータリー内側	・打ち水	87	12.0
6	筑豊地区統一行動「打ち水大作戦」	平成30年8月3日	桂川町東小学校	・打ち水	41	5.7
7	直方市 打ち水大作戦	平成30年8月9日	新生第一保育園	・打ち水	30	4.1
8	クールシェア-いいづか	平成30年8月16日	飯塚市役所1階多目的ホール	・エコバッグ作り ・エコファミリー募集	26	3.6
9	第2回リーダー会	平成30年8月28日	嘉穂保健所 会議室	・今年度の事業について	5	-
10	クールマインフェスティバル	平成30年11月3日	田川市石炭公園	・パネル展示 ・エコファミリー募集・環境家計簿の説明	50	6.9
11	地球温暖化防止活動 省エネ運動の推進	平成30年11月4日	中央公民館 金田分館	・パネルクイズ ・エコファミリー募集	80	11.0
12	エコ工房まつり	平成30年11月4日	エコ工房作業室	・パネルクイズ・エコバッグ作り ・エコファミリー募集	57	7.9
13	省エネクイズ（嘉麻ふれあいまつり2018）	平成30年11月10日	嘉麻市織田廣喜美術館裏芝生広場	・パネルクイズ ・エコファミリー募集	200	27.6
14	香春町ふるさと秋祭り	平成30年11月11日	香春町役場前広場	・パネルクイズ ・エコファミリー募集	128	17.7
15	キャンドルナイト	平成30年12月8日	飯塚市役所1階多目的ホール	・エコキャンドルづくり	80	11.0
16	出前講座	平成30年12月27日	桂川町東小学校	・エコ出前講座	32	4.4
17	第3回リーダー会	平成30年1月16日	嘉穂保健所 会議室	・エコスタいいづかの打合せ	4	-
18	エコスタいいづか	平成31年2月9日	飯塚市庄内体育館	・パネル展示 ・エコバッグ作り	80	11.0
合 計					1,192	154.7

【久留米・北筑後地域推進員連絡会】

久留米・北筑後地域は、推進員の横のつながりが大変強く、各市町村のイベントに他市町村から手伝いで参加するのが常となっています。

今年度は大刀洗町で COOL CHOICE の謎解きラリーをやるなど、地域イベントの新しい形が検討されています（表-10、図-20）。



図-20 第1回推進員連絡会開催の様子

表-10 久留米・北筑後地域の推進員地域連絡会の活動実績

NO	活動名	活動日	活動場所	活動内容	参加者数 (人)	CO2削減効果 (t-GO2/年)
	第1回連絡会	平成30年4月26日	久留米総合庁舎	・平成30年度リーダー、サブリーダー選出 ・平成30年度各行事計画等の日程調整	23	-
	第2回連絡会	平成30年9月20日	久留米総合庁舎	・平成30年度下半期の活動について	17	-
	第3回連絡会	平成31年2月28日	久留米総合庁舎	・平成30年度活動報告のまとめ ・その他	20	-
1	久留米市環境フェア 環境クイズ (北筑後HHEとの共催)	平成30年6月3日	久留米市百年公園	・パネルクイズ ・エコファミリー募集 ・クールチョイス賛同呼びかけ	801	110.5
2	小郡アンビシャスフェスタ	平成30年7月22日	小郡市生涯学習センター	・パネルクイズ ・エコファミリー募集	156	21.5
3	筑前町子どもつどい	平成30年10月14日	筑前町めくばー町民ホール周辺	・パネルクイズ ・エコファミリー募集	320	44.2
4	のぞみが丘生楽館 地域文化祭	平成30年10月21日	小郡市立のぞみが丘小学校	・パネルクイズ ・エコファミリー募集	295	40.7
5	うきは祭り2018	平成30年11月3日	うきは市立総合体育館（うきはアリーナ）	・パネルクイズ ・エコファミリー募集	300	41.4
6	第45回大刀洗ドリームまつり	平成30年11月11日	大刀洗町役場敷地内	・謎解きラリー ・クールチョイス賛同呼びかけ	300	41.4
7	がんばろう！あさくら祭り	平成30年11月25日	ピーボート甘木	・パネルクイズ ・エコファミリー募集	298	41.1
合 計					2,530	340.9

【大牟田・南筑後地域推進員連絡会】

大牟田・南筑後地域は、推進員連絡会には毎回行政担当者と推進員が同席するようになっており、推進員と行政担当者との関係がうまく構築されています。

今年度は第2回地域連絡会において「気候変動への挑戦」DVDを視聴するなど、推進員の知識向上を図りました（表-11、図-21）。



図-21 第2回推進員連絡会開催の様子

表-11 大牟田・南筑後地域の推進員地域連絡会の活動実績

NO	活動名	活動日	活動場所	活動内容	参加者数 (人)	CO2削減効果 (t-CO2/年)
	第1回連絡会	平成30年5月10日	南筑後保健福祉環境事務所 1階会議室	・平成30年度事業計画について ・エコファミリー、うちエコ診断について ・行政と推進員の協働について	23	-
	第2回連絡会	平成30年7月10日	南筑後保健福祉環境事務所 1階会議室	・DVD鑑賞「気候変動への挑戦」 ・各推進員、行政の年間計画にかかる要員の有無について	15	-
	第3回連絡会	平成31年2月27日	南筑後保健福祉環境事務所 1階会議室	・平成30年度の集約と次年度に向けて意見交換	17	-
1	大川市民夏まつり	平成30年8月4日	国際医療福祉大学キャンパス	・エコファミリー募集 ・クールチョイス賛同呼びかけ	100	13.8
2	柳川市リサイクルマーケット	平成30年9月16日	柳川市民体育館	・パネルクイズ ・エコファミリー募集 ・クールチョイス賛同呼びかけ	100	13.8
3	広川まつり	平成30年10月21日	広川中学校	・パネルクイズ ・クールチョイス賛同者募集	500	69.0
4	大木町さるこいフェスタ	平成30年10月28日	大木町地域創業・交流支援センターWAKKA	・パネルクイズ	200	27.6
5	健康と食育の祭典&環境フェスタ	平成30年11月11日	サザンクス筑後 市民の森公園	・パネルクイズ ・エコファミリー募集 ・クールチョイス賛同呼びかけ	250	34.5
6	第7回大牟田市緑のカーテンコンテスト	平成30年11月18日	大牟田市エコサクセンター	・10月5日事前打ち合わせ ・10月24日選考会 ・11月18日表彰式	16	2.2
7	おおむたエコタウンフェア2018	平成30年11月18日	大牟田市エコサクセンター	・緑のカーテンコンテスト入賞作品の展示 ・パネルクイズ ・クールチョイス賛同呼びかけ ・発電タイムトライアル	399	55.1
8	第8回 まるごとみやま秋穫祭	平成30年11月24・25日	みやま市役所駐車場	・エコファミリー募集 ・クールチョイス賛同呼びかけ	120	16.6
9	大川環境カーニバル2019	平成31年2月27日	大川市文化センター	・パネルクイズ ・クールチョイス賛同呼びかけ	150	20.7
合 計					1,890	253.2

各地域の推進員活動の実施結果については、県センターのホームページ内にある推進員活動紹介のページに掲載しており、各地域の活動の様子を閲覧できるようにしています（図-22）。



図-22 推進員活動紹介のページ

(4) 推進員活動を支援する「ふくおか環境マイスター」の派遣

平成25年5月の推進員アドバイザー制度の廃止に伴い、各地域推進員連絡会の専門家派遣の要請、並びに県センター事業の支援者として、講師派遣制度の「福岡環境マイスター」に登録している専門家を推進員地域連絡会に派遣しています。

「ふくおか環境マイスター」として派遣した専門家は表-12に示すとおりです。

表-12 地域支援のふくおか環境マイスター一覧

氏名	所属等	担当地域
越智 信雄	環境コンサルタント、エコアクション21審査員	宗像・遠賀
佐藤 直美	元推進員、高校教師	
依田 浩敏	近畿大学産業理工学部教授、ふくおか環境カウンセラー協会理事長	筑豊
宮寺 健	九州環境カウンセラー協会前理事長、エコアクション21審査員	久留米・北筑後
荒木 フサエ	元推進員、環境団体代表	大牟田・南筑後

(5) イベント等で使用する景品の整備とエコトングッズの開発

推進員活動を支援するため、イベント等で配布する景品を整備しました(図-23)。

製品一覧 その1		この景品は、福岡県地球温暖化防止活動推進センターでまとめて購入しているものです。 ※単品価格は、別途販売する場合、この一覧以外から元の価格を各自に探し出し、購入することができます。 *金額は税込み価格です。			
2019年1月15日現在					
商品名	1 スヌーピーコットンランチトート	商品名	2 ディズニーストレンジングバッグ デニム調	商品名	3 ディズニーストレンジングバッグ
サイズ	20×30×10cm	サイズ	約42×10×33cm	サイズ	約42×12.5×32cm
荷姿	透明袋	荷姿	ポリ袋入り	荷姿	ポリ袋入り
商品代	¥290円	商品代	¥431円	商品代	¥366円
在庫数	0個	在庫数	5個	在庫数	0個
その他		その他		その他	図柄、色が変わることがあります
商品名	7 にほんの色鉛筆12色セット	商品名	8 パウンスカー用乾き置きリュック	商品名	9 結晶ごみごみポイ 5粒入り
サイズ	全長6.7cm バッケージタ×11.5×1cm	サイズ	使用時 40×29×10cm 収納時 40×11.5×12.5cm	サイズ	タテ200mm×ヨコ30mm×マチ90mm
荷姿	ヘッド付化粧箱入り	荷姿	ポリ袋入り	荷姿	ポリ袋入り
商品代	¥96円	商品代	¥322円	商品代	¥106円
在庫数	176個	在庫数	19個	在庫数	180個
その他		その他		その他	
商品名	11 8色クレヨン	商品名	12 てんぷら油処理剤 過コック30L 28mm	商品名	13 タオルスイーツ マフィンケーキ1個
サイズ	約20×8mm	サイズ	タテ175mm×ヨコ75mm	サイズ	20×20mm
荷姿	化粧箱入り(52×92×1cm)	荷姿	ポリ袋入り	荷姿	ポリ袋入り
商品代	¥29円	商品代	¥76円	商品代	¥99円
在庫数	53個	在庫数	97個	在庫数	108個
その他		その他		その他	
商品名	16 8色クレヨン	商品名	17 てんぷら油処理剤 過コック30L 28mm	商品名	18 タオルスイーツ マフィンケーキ1個
サイズ	約20×8mm	サイズ	タテ175mm×ヨコ75mm	サイズ	20×20mm
荷姿	化粧箱入り(52×92×1cm)	荷姿	ポリ袋入り	荷姿	ポリ袋入り
商品代	¥29円	商品代	¥76円	商品代	¥99円
在庫数	53個	在庫数	97個	在庫数	108個
その他		その他		その他	

図-23 県センターで整備している景品(一部抜粋)

また、昨年度作成した小冊子「エコトンのエコライフのすすめ」が好評のため、イベント等配布用として追加で作製しました(図-24)。

エコトンといっしょに未来を救ってくれる仲間、エコファミリー募集中です！
詳しくは、ふくおかエコライフ応援サイト (<http://www.ecofukuoka.jp>) をご覧ください。

福岡県地球温暖化防止活動推進センター
〒813-0004 福岡市東区松舞台 1-10-1
(一部)九州環境管理協会内
TEL:092-674-2360
FAX:092-674-2361
メール:ecofca@keea.or.jp

この冊子は、環境省補助事業で作成したものです。

すずしい夏をすごそう

エアコンを使うときは、カーテンを閉めて部屋が暑くならないようにしましょう。風向は床と水平にね。冷たい空気は下にたまりやすいから、扇風機やサーキュレーターを使って空気を循環させるといいよ。

あたたかな冬をすごそう

エアコンは自動モードがお得。運転音をして室温20℃を心がけよう。

冬の暖房はエアコンがオススメ。風向を下向きにすると部屋全体が温まるよ。冷たい空気は窓から入るから、丈夫の長い厚手のカーテンをしっかり閉めようね。ファンヒーターを使う場合は、窓を背にすると暖房効果が大きくなるよ。

図-24 「エコトンのエコライフのすすめ」一部抜粋

20

2-3 講師派遣制度の運用

(1) 事業概要

県センターでは、家庭や事業者などに対する直接的な普及啓発を目的として、「ふくおか環境マイスター」、「エコアドバイザー」及び「うちエコ診断士」の派遣を実施しました。

(2) ふくおか環境マイスター派遣

地球温暖化について専門的な知識や知見及び資格を有する者を「ふくおか環境マイスター」として登録し、一般市民団体や企業・NPO・自治体の環境担当者、教師を対象とした研修会や大学生対象の講義などへ派遣しました（図-25、26）。

平成30年度の派遣実施件数は23件、合計受講者数は548人でした（表-13）。

表-13 ふくおか環境マイスターの派遣実績

NO	実施日	講演会名(実施テーマ)	申請団体	講師氏名	対象	参加者数	CO ₂ 削減量 (t-CO ₂ /年)
1	平成30年4月9日	エコアクション21コンサルティング	南松尾鉄工所	中島 昭一	職員	2	0.3
2	平成30年5月31日	チャレンジクッキング(味噌作り)	かすが塾	篠原貴美恵	学生、教師等	22	3.0
3	平成30年6月5日	気候変動と私たちの暮らし～レジリエントな社会をめざして～	陸上自衛隊幹部候補生学校	林真実	自衛官	100	13.8
4	平成30年6月25日	平成30年度環境教育研究会 第1回研修会	筑紫地区小学校環境教育研究会	篠原貴美恵	小学校教師	20	2.8
5	平成30年6月28日	エコアクション21コンサルティング	ノナカ電子株式会社	中島 昭一	職員	2	0.3
6	平成30年7月12日	筑紫女学園大学「生涯学習概論」循環型社会の実現のために	学校法人筑紫女学園大学	矢野真佐美	学生	28	3.9
7	平成30年7月12日	エコアクション21コンサルティング	安田建物管理㈱	中島 昭一	職員	1	0.1
8	平成30年9月13日	那珂川町環境保全推進委員研修会	那珂川町環境課	清水佳香	各行政区、婦人会等の団体からの推薦者	39	5.4
9	平成30年10月18日	職員研修(各課長)	筑紫野市環境課	林真実	各課長	34	4.7
10	平成30年10月18日	職員研修(各課職員)	筑紫野市環境課	林真実	各課職員	35	4.8
11	平成30年10月27日	3R・低炭素社会検定講習会	3R・低炭素社会検定地域事務局	鈴木慎也	一般市民、学生他	6	0.8
12	平成30年11月21日	遠賀町環境協働推進組織 環境セミナー	遠賀町住民課環境衛生係	川島伸治	遠賀町環境協働推進組織委員及び各団体	27	3.7
13	平成30年11月30日	地域環境協議会行政職員・教育職員研修会	宗像・遠賀・粕屋地域環境協議会	清水佳香	行政、教育職員、推進員	15	2.1
14	平成31年1月22日	食育	福岡教育大学	矢野真佐美	初等科学生	60	8.3
15	平成31年1月22日	食育	福岡教育大学	矢野真佐美	初等科学生	60	8.3
16	平成31年1月25日	エコアクション21コンサルティング	株式会社 釜掘組	中島 昭一	職員	2	0.3
17	平成31年2月20日	エネルギーと地球環境	㈱メイホー	清水佳香	職員	33	4.6
18	平成31年2月22日	エコアクション21コンサルティング	喜多電設株式会社	中島 昭一	職員	2	0.3
19	平成31年2月22日	エコアクション21コンサルティング	㈱アワ・イン コリアガ	中島 昭一	職員	2	0.3
20	平成31年2月22日	エコアクション21コンサルティング	株式会社カワチコーレション	中島 昭一	職員	1	0.1
21	平成31年3月7日	3R研修会	桂川町地区衛生組合連合会	清水佳香	評議員、事務局	30	4.1
22	平成31年3月7日	暮らしの中で出来るエコ	新栄総合管理株式会社	林真実	職員	11	1.5
23	平成31年3月16日	温暖化防止対策勉強会	藤栄電気工事株式会社	渡邊 裕子	職員	16	2.2
計						548	75.6



図-25 講演（陸上自衛隊幹部候補生学校）



図-26 講演（那珂川市）

(3) エコアドバイザー派遣

地球温暖化に係る一般的な知見を有している者を「エコアドバイザー」に登録し、幼稚園、保育園、小学校、また一般県民を対象とした環境学習会へ派遣しました。

なお、本派遣には自発的な申込みを受け付ける「常時受付」と、幼稚園・保育園等にセンターから案内を出して申込みを受けて講師を派遣する「3世代まるとエコ活動」の2種類があります（図-27、28）。

これらの派遣は非常に好評で、とりわけ「3世代まるとエコ活動」は募集開始一週間足らずで定数に達し、今年度は申込数のうち25件ほど断っています。

図-27 エコアドバイザー派遣のページ

図-28 3世代まるとエコ活動の案内チラシ

① 常時受付の派遣実績

平成30年度における常時受付の派遣実施件数は65件、合計受講者数は4,041人でした(表-14、図-29、30)。対象は主に小学生や一般県民等です。

表-14 常時受付によるエコアドバイザー派遣実績

NO	実施日	講演テーマ	申請団体	講師氏名	対象	参加者数	CO2削減量 (t-CO ₂ /年)
1	平成30年4月14日	グリーンカーテン講座	小郡市 生活環境課	宿理 英彦	市民	21	2.9
2	平成30年4月17日	エコ出前授業	片江小学校	平川 由記子	4年生	94	13.0
3	平成30年4月26日	エコ出前授業	新宮北小学校	清水 佳香	3年生	175	24.2
4	平成30年5月7日	グリーンカーテン講座	苅田町環境保全課	宿理 英彦	市民	37	5.1
5	平成30年5月9日	グリーンカーテン講座	宗像市環境課	宿理 英彦	市民	37	5.1
6	平成30年5月30日	家庭でできる省エネ・節電対策	古賀市役所	吉見 一郎	市民	12	1.7
7	平成30年5月30日	エコ出前授業	古賀市役所環境課	中屋 允雄	4年生	39	5.4
8	平成30年5月31日	エコ出前授業	志免西小学校	清水 佳香	5年生	205	28.3
9	平成30年5月31日	エコ出前授業	古賀市役所環境課	武田 京子	4年生	117	16.1
10	平成30年6月1日	エコ出前授業	古賀市役所環境課	吉見 一郎	4年生	47	6.5
11	平成30年6月4日	エコ出前授業	古賀市役所環境課	蓮尾 隆	4年生	91	12.6
12	平成30年6月5日	エコ出前授業	古賀市役所環境課	吉見 一郎	4年生	53	7.3
13	平成30年6月7日	エコ出前授業	古賀市役所環境課	蓮尾 隆	4年生	73	10.1
14	平成30年6月8日	エコ出前授業	香椎浜小学校	渡邊 裕子	4年生	51	7.0
15	平成30年6月8日	エコ出前授業	古賀市役所環境課	吉見 一郎	4年生	62	8.6
16	平成30年6月11日	エコ出前講座	大木町	荒木 フサ卫	園児	66	9.1
17	平成30年6月15日	エコ出前授業	苅田町立 与原小学校	松岡 麻利子	5年生	114	15.7
18	平成30年6月17日	家庭でできる省エネ・節電対策	一般社団法人実践倫理宏正会赤間支部	大谷 光男	市民	80	11.0
19	平成30年6月21日	エコ出前授業	真木小学校	武貞 誉裕	4年生	10	1.4
20	平成30年6月21日	エコ出前授業	久留米市立小森野小学校	清水 佳香	2年生	47	6.5
21	平成30年6月26日	エコ出前授業	東箱崎小学校	矢野 真佐美	小学生	55	7.6
22	平成30年7月5日	エコ出前授業	小郡市三国小学校	木下 綾子	4年生	150	20.7
23	平成30年7月10日	生物と環境学習	川崎小学校区効果後子供教室運営委員会	武貞 誉裕	小学生	25	3.5
24	平成30年7月12日	社会教育講座	立石コミュニティ協議会	宮崎 誠	市民	30	4.1
25	平成30年7月14日	家庭でできる省エネ・節電対策	古賀市役所環境課	吉見 一郎	市民	10	1.4
26	平成30年7月27日	エコ出前授業	嘉麻市上山田小学校	西谷 とも子	小学生	60	8.3
27	平成30年7月31日	エコ出前授業	嘉麻市下山田小学校	袖崎 隆子	小学生	24	3.3
28	平成30年8月2日	エコ出前講座	にこにこ保育園	山田 恵美	園児	29	4.0
29	平成30年8月3日	エコ出前授業	嘉麻市稲築東小学校	袖崎 隆子	小学生	41	5.7
30	平成30年8月3日	エコ出前授業	嘉麻市稲築東小学校	松尾 豊	小学生	37	5.1
31	平成30年8月9日	エコ出前講座	上富野保育所	鬼塚 やよい	園児	30	4.1
32	平成30年8月17日	エコ出前授業	嘉麻市嘉穂第二小学校	袖崎 隆子	小学生	37	5.1
33	平成30年8月20日	エコ出前授業	福岡県立社会教育総合センター	渡邊 裕子	4~6年	66	9.1
34	平成30年8月21日	エコ出前授業	福岡南しんあい児童クラブ	丸尾 哲郎	小学生	70	9.7
35	平成30年8月27日	園庭の生き物観察	いわら保育園	岩隈 志保	園児	23	3.2

NO	実施日	講演テーマ	申請団体	講師氏名	対象	参加者数	CO2削減量 (t-CO ₂ /年)
36	平成30年8月27日	環境教育研修	いώρα保育園	岩隈 志保	職員	15	2.1
37	平成30年8月30日	浄水場の役割や水の大切さについて考える	福智町立伊方小学校	中尾 明子	小学生	54	7.5
38	平成30年8月30日	エコ出前講座	杉の子保育園	石角 聡	園児	110	15.2
39	平成30年9月3日	エコ出前授業	春日原小学校	篠原 貴美恵	小学生	106	14.6
40	平成30年9月5日	エコ出前講座	空とぶくじら幼稚園志免園	梅崎 由美子	園児	65	9.0
41	平成30年9月15日	生物多様性を含む自然環境の重要性及び市民の環境保全運	宗像の環境を考える会	武貞 誉裕	市民	70	9.7
42	平成30年9月27日	エコ出前授業	新宮北小学校	平川 由記子	4年生	152	21.0
43	平成30年10月4日	エコ出前講座	北九州市ソレイユ保育園	川島 伸治	園児	60	8.3
44	平成30年10月5日	食と環境	すくっ子アンビシャス広場	篠原 貴美恵	小学生	39	5.4
45	平成30年10月11日	エコ出前授業	安徳南小学校	清水 佳香	4年生	119	16.4
46	平成30年10月18日	エコ出前講座	精華幼稚園	久永 恵美子	園児	71	9.8
47	平成30年10月25日	エコ出前授業	片島小学校	松岡 麻利子	4年生	21	2.9
48	平成30年11月9日	エコ出前授業	深江小学校	渡邊 裕子	4年生	43	5.9
49	平成30年11月19日	エコ出前授業	朝倉地域選挙管理委員会協議会	中尾 明子	市民	50	6.9
50	平成30年11月21日	エコ出前講座	福岡教育大学附属幼稚園	清水 佳香	園児	35	4.8
51	平成30年11月27日	エコ出前講座	こぼと保育園	島田 由美子	園児	40	5.5
52	平成30年11月27日	エコ出前講座	三島保育園	北島 なつき	園児	30	4.1
53	平成30年11月28日	エコ出前講座	すみれ保育園	島田 由美子	園児	116	16.0
54	平成30年12月1日	エコ出前授業	津屋崎小学校	平川 由記子	小学生	65	9.0
55	平成30年12月1日	エコクッキング	小郡市生活環境課	篠原 貴美恵	小学生以上	29	4.0
56	平成30年12月7日	食と環境	香椎小学校	平川 由記子	5年生	117	16.1
57	平成30年12月16日	エネルギー環境講座	福岡市東区三苫一丁目子ども育成会	松岡 信明	小学生	51	7.0
58	平成31年1月22日	エコ出前講座	木佐木保育園	北島 なつき	園児	56	7.7
59	平成31年2月1日	身近なものをを使ってオムツやスリッパを作り、災害時に備えよう	社会福祉法人グリーンコープ子育てサポートセ	矢野 真佐美	市民	4	0.6
60	平成31年2月4日	電気のしくみ	日の里西小学校	矢野 真佐美	小学生	54	7.5
61	平成31年2月6日	エコ出前授業	苅田町立 馬場小学校	松岡 麻利子	2年生	58	8.0
62	平成31年2月27日	エコ出前授業	筑前町立三輪小学校	清水 佳香	6年生	63	8.7
63	平成31年2月27日	エコ出前授業	筑前町立三輪小学校	清水 佳香	6年生	63	8.7
64	平成31年3月13日	エコ出前授業	筑前町立三輪小学校	平川 由記子	5年生	139	19.2
65	平成31年3月13日	家庭でできる省エネ・節電対策	古賀市役所	吉見 一郎	市民	28	3.9
計						4,041	557.7



図-29 グリーンカーテン講座（苅田町）



図-30 エコ出前授業（宗像市）

② 三世代まるごとエコ活動の派遣実績

幼稚園、保育園等において、地球温暖化防止等に関する子ども又は親子向けエコ出前講座を開催し（図-31、32）、受講後にはこども環境家計簿食育編を配布、家庭で家族と一緒にエコ活動に取り組んでもらいました。参加又は参加予定の園児のうち、希望者には図-33に示す年賀ハガキ（先着 1,500 枚）を進呈し、園児がハガキの絵柄に塗り絵をして祖父母等へ送付してもらいました。

さらに、今年度は子どもたちのエコ活動の定着を図るため、講座を受けた園に絵本「わたしがぼくがちきゅうのためにできる 10 のこと」を進呈しました（図-34）。講座後もこの絵本を園で読み聞かせることにより、エコ活動のより一層の定着が期待されます。

今年度は受講した園児世帯のうち、733 世帯から取組報告を受けました。エコ出前講座の受講後に園児等が家庭で取り組んだ「子ども環境家計簿」の報告結果から、二酸化炭素削減量は 217.4t -CO₂/年と推計されました（表-15）。



図-31 エコ出前講座（福岡市）



図-32 エコ出前講座（福智町）



図-33 年賀ハガキ（塗り絵）

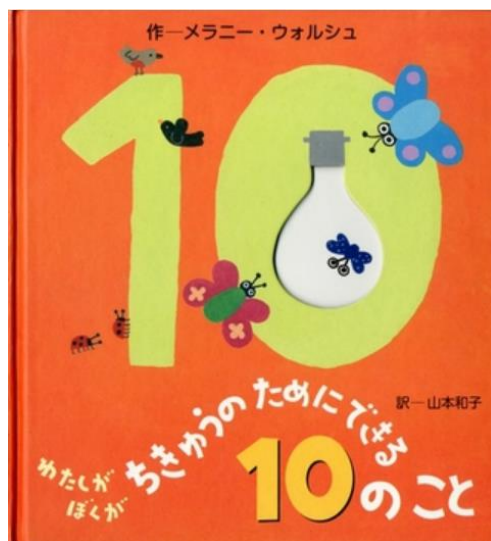


図-34 絵本「ちきゅうのためにできる 10 のこと」

表-15 3世代まるごとエコ活動の派遣実績

NO	実施日	申請団体	講師氏名	参加者数 (人)	報告世帯数	CO ₂ 削減量 (t-CO ₂ /年)
1	平成30年7月4日	はばたく保育園	山田 恵美	27	-	-
2	平成30年7月5日	博多とみひろ保育園	小出 まずる	85	61	18.3
3	平成30年7月9日	新宮社の宮 コスモス保育園	梅崎 由美子	61	14	4.4
4	平成30年7月12日	社会福祉法人草香江園	小出 まずる	33	5	1.9
5	平成30年7月18日	ふくろうの森保育園	山田 恵美	27	-	-
6	平成30年7月19日	聖心ウルスラ幼稚園	小出 まずる	69	35	10.9
7	平成30年7月19日	三萩野保育園	鬼塚 やよい	60	-	-
8	平成30年7月26日	折尾丸山保育所	矢野 真佐美	43	-	-
9	平成30年7月30日	城野保育園	小川 育子	41	6	2.2
10	平成30年8月1日	心愛保育園	石橋 貞子	48	6	1.7
11	平成30年8月2日	大和保育所	岩隈 志保	70	13	3.7
12	平成30年8月21日	花乃路保育園	久永 恵美子	32	3	1.2
13	平成30年8月21日	青峰保育園	山田 恵美	26	3	0.9
14	平成30年8月22日	大濠すくすく保育園	山田 恵美	20	-	-
15	平成30年8月23日	木屋瀬保育園	矢野 真佐美	36	2	0.8
16	平成30年8月27日	曾根ひかり幼稚園	矢野 真佐美	110	-	-
17	平成30年8月31日	いわき福祉会 はつねほいくえん	川島 伸治	60	1	0.4
18	平成30年9月5日	リトルワールドイングリッシュハウス	山田 恵美	31	5	1.7
19	平成30年9月6日	中間中央幼稚園	矢野 真佐美	51	25	7.5
20	平成30年9月7日	宝福寺幼稚園	平川 由記子	63	4	1.6
21	平成30年9月10日	アスク東比恵保育園	小出 まずる	61	5	1.3
22	平成30年9月27日	中間東幼稚園	渡邊 裕子	85	27	9.5
23	平成30年9月27日	菊池保育園	中村 眞弓	52	42	12.9
24	平成30年10月2日	大木町光の子幼稚園	荒木 フサエ	96	-	-
25	平成30年10月4日	おぐまの保育所	田中 千鶴	66	17	5.2
26	平成30年10月4日	大刀洗保育園	木下 綏子	28	12	4.3
27	平成30年10月10日	陣原保育所	小川 育子	121	78	7.2
28	平成30年10月11日	大川保育園	田中 千鶴	42	37	12.2
29	平成30年10月11日	筑紫野市立 街道保育所	山田 恵美	98	61	15.4
30	平成30年10月15日	北九州市立貫保育所	小川 育子	60	-	-
31	平成30年10月17日	海の星保育園	木下 綏子	30	12	3.9
32	平成30年10月18日	福岡市立田隈保育所	山田 恵美	41	10	3.4
33	平成30年10月18日	金田保育園	平野 アキ子	30	-	-
34	平成30年10月19日	福智町立神崎保育所	山尾 勝子	56	3	0.9
35	平成30年10月20日	うきは市立いずみ保育園	山田 恵美	140	29	10.0

NO	実施日	申請団体	講師氏名	参加者数 (人)	報告世帯数	CO ₂ 削減量 (t-CO ₂ /年)
36	平成30年10月22日	上府あおぞら保育園	渡邊 裕子	58	24	8.2
37	平成30年10月22日	古城保育園	石角 聡	90	45	15.8
38	平成30年10月23日	いとぼっぼ保育園	小出 まずる	36	-	-
39	平成30年10月23日	花見あおぞら保育園	渡邊 裕子	66	-	-
40	平成30年10月25日	久保保育園	平川 由記子	74	1	0.4
41	平成30年10月30日	大野南保育所	小出 まずる	88	42	13.0
42	平成30年10月30日	中間南幼稚園 中間みなみ保育園	平川 由記子	126	-	-
43	平成30年11月1日	篠崎保育園	石角 聡	28	7	1.2
44	平成30年11月15日	Kuukids 福岡	山田 恵美	17	14	5.2
45	平成30年11月20日	善導寺保育園	山田 恵美	36	-	-
46	平成30年11月26日	九州女子大学附属自由ヶ丘幼稚園	川島 伸治	200	65	24.1
47	平成30年12月6日	筑紫野市立 山家幼稚園	篠原 貴美恵	41	2	0.8
48	平成30年12月7日	わかぐさ保育園	山田 恵美	95	-	-
49	平成30年12月13日	徳吉保育所	矢野 真佐美	41	14	4.8
50	平成30年12月13日	幸幼稚園	小川 育子	25	3	0.8
51	平成30年12月20日	ひかり幼稚園	渡邊 裕子	22	-	-
計				3,042人	733世帯	217.4

(4) うちエコ診断士の派遣

各家庭のライフスタイルに応じた効果的な省エネ・温暖化対策を提案する「うちエコ診断」の受診者募集を、協力自治体（筑後市、大木町、飯塚市）と連携を取りながら行いました。

平成30年度は、19世帯の診断を実施しました（表-16）。

表-16 うちエコ診断士派遣一覧 ※環境省事業での実施（100件）は含まず。

診断日	診断場所	診断士	診断数	方法
平成30年11月11日	筑後市（サザンクス筑後）	荒木 フサエ	6	会場
平成31年2月8日	受診者自宅（宗像市）	越智 信雄	1	訪問
平成31年2月9日	エコスタいいづか	吉柳 隆行 案浦 浩二	5	会場
平成31年2月14日	大木町役場（庁議室）	荒木 フサエ 益田 隆一	4	会場
平成31年2月16日	受診者自宅（糸島市）	森 博史	1	訪問
平成31年3月12日	受診者自宅（小郡市）	大山 勉	1	訪問
平成31年3月19日	受診者自宅（行橋市）	中村 真弓	1	訪問
合計			19	

（敬称略）



図-35 エコスタいいづか会場内の様子



図-36 大木町うちエコ診断の様子

平成30年度のうちエコ診断の受診世帯の提案による削減効果は、7.9 t-CO₂/年となりました。(事後調査票回収件数：8件)

2-4 地域のNPO等の活動支援

今年度は地域のNPO等の活動支援として、推進員との交流を深め連携を強化すること、また近年話題となっている適応策に関する最新情報を提供することを目的として、気候変動適応策に関する推進員研修会への参加を呼びかけ、参加した6名(3団体)に交通費を支給しました(環境省補助事業内で実施)。来年度も引き続き地域のNPOと推進員の交流の場を設け相互の連携体制を築いていきます。

また、今後エコアドバイザーとして講師登録が期待されるNPO(1名)に対し、センター事業や講師派遣制度の説明等を行いました。今後OJT研修の実施、研修会への参加などを行った上で、講師として登録することとしています。

3. 住民等からの照会・相談対応

3-1 県民、事業者、NPO、市町村等からの相談・照会対応

(1) 問合せ・来訪者

平成30年度における県センターへの電話等による問合せ数728件、訪問数138件の合計866件であり、昨年度（770件）に比べてやや増加しています（表-17）。

主な問合せ内容としては、学習資材や啓発資材（エコトン着ぐるみや展示啓発パネルなど）の貸出依頼、講師派遣の依頼、うちエコ診断士派遣の依頼、エコファミリー事業等、多岐にわたります。また、訪問者の多くは各種資材の受取・返却や継続的に実施している推進員相談窓口の活用によるものでした。

表-17 県センターへの問合せ・訪問者数

年 度	問合せ（件）	来訪者（人）	備 考
平成24年度	360	120	
平成25年度	426	200	次世代教育講師会議（4回）
平成26年度	1,024	325	次世代教育講師会議（8回）
平成27年度	1,064	350	次世代教育講師会議（11回）
平成28年度	816	94	
平成29年度	669	101	
平成30年度	728	138	2月末時点

(2) 特別講座の開催

昨年度来協したスコットランドのロバート・ゴードン大学レズリー准教授が再来日された際に、県センターで講演及び意見交換を行う特別講座を開催しました。

レズリー氏からは、「都市レベルにおける地球温暖化対策・防止活動 スコットランドと福岡を比較した場合」と題し、スコットランドの温暖化対策の現状、ケーススタディなどについてお話いただきました（図-37）。意見交換ではスコットランドと福岡県の温暖化対策の取組みなどについて情報交換がなされました（図-38）。



図-37 講演を行うレズリー氏



図-38 意見交換会

(3) 新聞社からの取材

西日本新聞からの依頼で、夏の省エネ対策についての取材を受け、福岡県のエコファミリー応援事業、エアコンの使い方等について情報を提供しました（図-39）。

ヒアリング内容の記事が9月21日付けの西日本新聞に掲載されました（図-40）。



図-39 取材対応



図-40 西日本新聞紙面

(4) 地球温暖化対策実行計画策定委員会等への参加

県センターでは、県内の自治体が策定する「地球温暖化対策実行計画」の策定や進行管理の委員会に温暖化防止対策の普及促進を図る立場の委員として参加しています。

今年度は、福岡市、大木町、久留米市の2市1町の委員会にセンター長及び副センター長が出席しました（表-18）。

表-18 自治体の温暖化対策委員会等への参加実績

自治体名	委員会名	開催日	参加者
福岡市	福岡市地球温暖化対策実行計画協議会	平成30年8月29日	センター長
大木町	大木町地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）評価委員会	平成30年6月1日	副センター長
久留米市	久留米市地球温暖化対策協議会	平成30年7月20日 平成30年11月22日	センター長

4. 温暖化対策に取り組む NPO、企業、行政のネットワーク化

4-1 地域環境協議会への参加

今年度は県内 6 地域にある地域環境協議会のうち、南筑後地域及び宗像・遠賀地域の協議会にセンターとして参加しました。

南筑後地域では平成 30 年 6 月 6 日の地域協議会の場で参加者に気候変動の現状や福岡県内の温室効果ガス排出状況、適応策などについて講演しました。

宗像・遠賀地域では管内の子どもエコチェックシートの取組状況について確認し、これまで取組を実施していなかった市町村に周知してもらった結果、新たに新宮町が取組を始めることになりました。

来年度も引き続き地域環境協議会に参加し、各地域の低炭素化に向けてセンターができることを模索するほか、地域協議会構成員との連携強化、更なる活動の拡大を図ります。

4-2 地域における省エネ家電買換促進検討会議での話題提供

一般財団法人環境イノベーション情報機構より、平成 30 年度地域における省エネ家電買換促進検討会議において地域の省エネ家電買換の取組事例について話題提供の依頼があり、15 分程度講演を行いました（図-41、42）。

講演では、「福岡県の省エネ家電買換促進の取組について」と題し、福岡県エコファミリー応援事業及び環境家計簿について説明し、家電の買換促進には、家電業界、行政、推進員等が連携して啓発を進めることが重要であることを伝えました。

聴講者からは「エコファミリー事業を初めて知った」「家電の購入は安くない買い物なので、ポイントがもう少し高いとよりよいのでは」といった意見がありました。



図-41 発表資料（一部抜粋）



図-42 講演の様子

5. 県内の温室効果ガス排出実態の調査・分析

県センターでは、福岡県内の温室効果ガス排出実態調査及び分析を行っています。今年度は2016年度の排出量調査・分析を行いました。調査・分析にあたり、県内の延べ32社にアンケートを実施しました。

5-1 温室効果ガス排出量

2016年度の福岡県の温室効果ガス総排出量は、6,081万トン（二酸化炭素換算、電気の二酸化炭素排出係数0.462kg-CO₂/kWh）です（表-19）。

基準年度（2013年度）※の総排出量と比べ11.0%減少し、昨年度（2015年度、以下同じ）より4.5%減少しました。

表-19 福岡県の温室効果ガス総排出量総括表

温室効果ガス排出区分	基準年度 (2013年度) (万トン)	昨年度 (2015年度) (万トン)	昨年度 からの 増減率 (%)	現況 (2016年度) (万トン)	増減率 (対基準年度) (%)	(参考) 国の増減率 (対基準年度) (%)
合計	6,830	6,367	-4.5	6,081	-11.0	-7.3
二酸化炭素	6,616	6,127	-4.8	5,832	-11.9	-8.3
エネルギー起源	5,859	5,384	-5.1	5,108	-12.8	-8.7
エネルギー転換部門 (発電所等)	66	61	-6.1	57	-13.4	-6.9
民生(家庭)部門	869	674	-0.8	668	-23.1	-8.3
民生(業務)部門 (商業・サービス・事業所)	994	829	-8.3	760	-23.5	-10.4
産業部門 (工場等)	2,827	2,739	-5.8	2,580	-8.7	-10.5
運輸部門 (自動車・船舶等)	1,103	1,082	-3.7	1,042	-5.6	-3.8
非エネルギー起源	757	743	-2.6	724	-4.4	-2.9
工業プロセス部門 (セメント製造等)	686	677	-3.2	655	-4.4	-4.8
廃棄物部門 (一廃・産廃)	71	66	5.0	69	-3.3	0.5
メタン	41	39	-3.1	38	-8.8	-5.3
一酸化二窒素	50	48	-6.0	45	-8.6	-4.8
代替フロン等4ガス (HFC、PFC、SF ₆ 、NF ₃)	123	153	8.7	166	35.3	24.8

注) 四捨五入の関係で各項目の数値の合計値や増減率が合わない場合がある。

注)・※ すべての温室効果ガスについての基準年度は2013年度(平成25年度)とする。

- ・二酸化炭素以外の温室効果ガスの二酸化炭素換算のための地球温暖化係数については、第二約束期間(2013年～2020年)の係数を採用している。
- ・今回の調査・分析から、電力消費に伴うCO₂排出量算定に使用するデータを電灯電力等需要実績から都道府県別エネルギー消費統計に変更している。

5-2 二酸化炭素排出量

全体の約 88%を占めるエネルギー起源二酸化炭素の排出量は 5,108 万トンで、基準年度から 12.8%減少しており、昨年比では 5.1%減少しています。部門別には次のとおりです。

エネルギー転換部門（発電所等）：2013 年度比－13.4%（対昨年度比－6.1%）
 家庭部門：2013 年度比－23.1%（対昨年度比－0.8%）
 業務部門（商業・サービス・事務所等）：2013 年度比－23.5%（対昨年度比－8.3%）
 産業部門（工場等）：2013 年度比－8.7%（対昨年度比－5.8%）
 運輸部門（自動車・船舶等）：2013 年度比－5.6%（対昨年度比－3.7%）

全体の約 12%を占める非エネルギー起源二酸化炭素の排出量は 724 万トンで、基準年度から 4.4%減少しており、昨年度比では 2.6%減少しています。部門別には次のとおりで、廃棄物部門は昨年度比で 5.0%増加しています。

工業プロセス部門（セメント製造等）：2013 年度比－4.4%（対昨年度比－3.2%）
 廃棄物部門（一般廃棄物・産業廃棄物）：2013 年度比＋3.3%（対昨年度比 5.0%）

部門ごとの排出量は、産業部門、工業プロセス部門及び運輸部門は横ばいだったのが近年減少しています。家庭部門、業務部門、エネルギー転換部門は原発停止による CO₂ 排出係数の上昇に伴って 2011 年度、2012 年度には大幅に増加しましたが、2014 年度から減少に転じています。2016 年度も減少傾向にあります。家庭部門の減少は鈍化しています（図-43）。

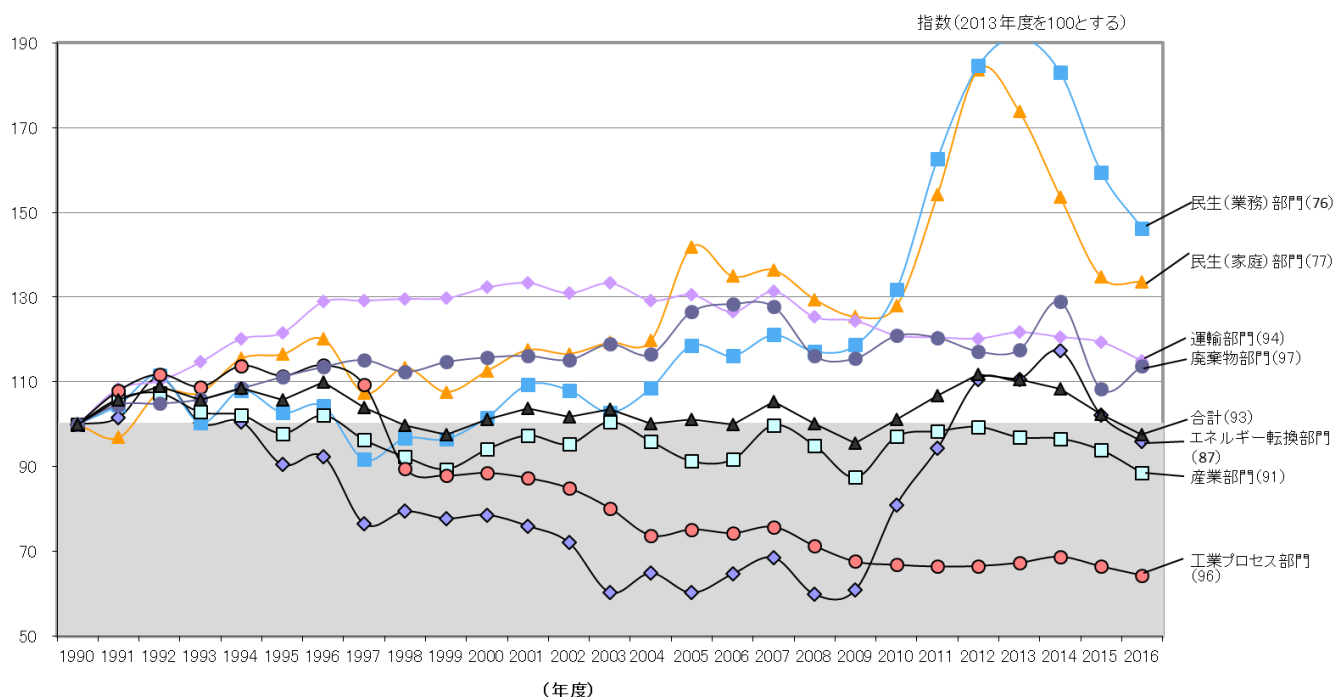


図-43 部門別二酸化炭素排出量の伸び率

県内の二酸化炭素排出量は、2009～2012年度まで増加傾向にありましたが、2013年度から減少に転じています（図-44）。エネルギー消費量は、2010年度以降は減少傾向にあります（図-45）。

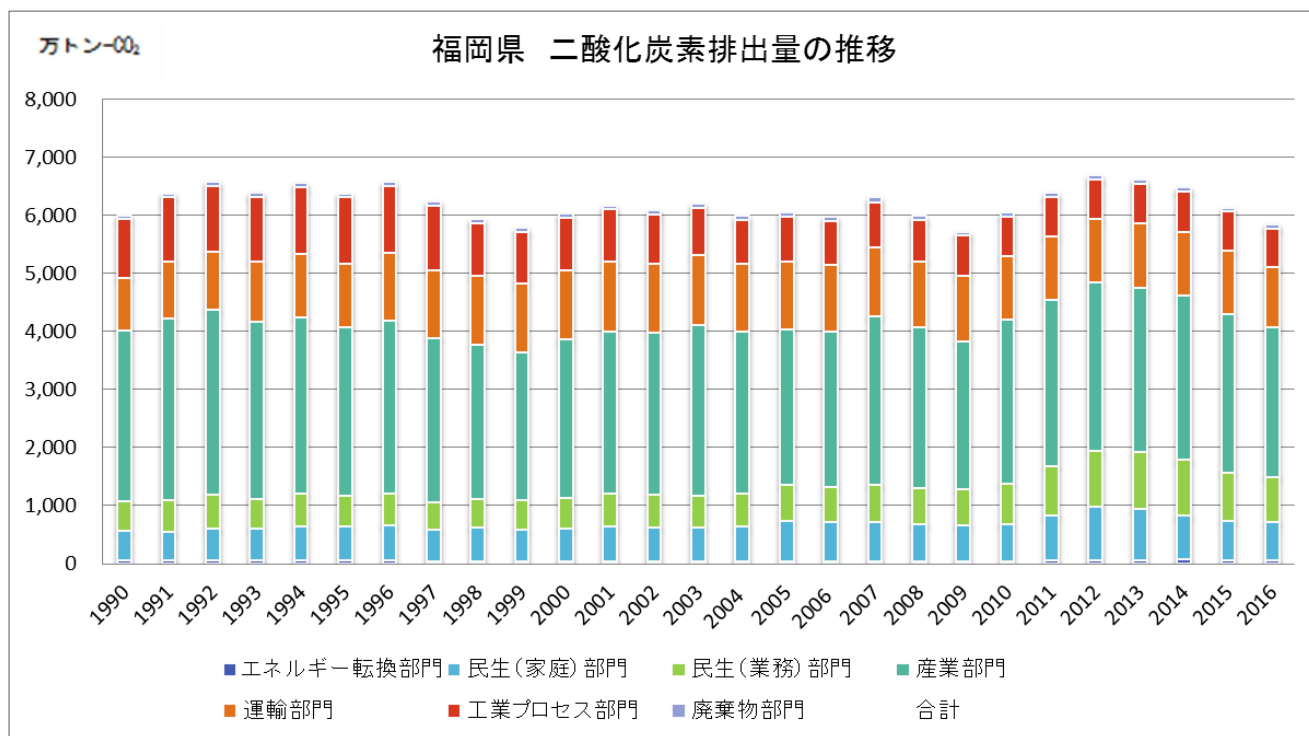


図-44 二酸化炭素排出量の推移（福岡県）

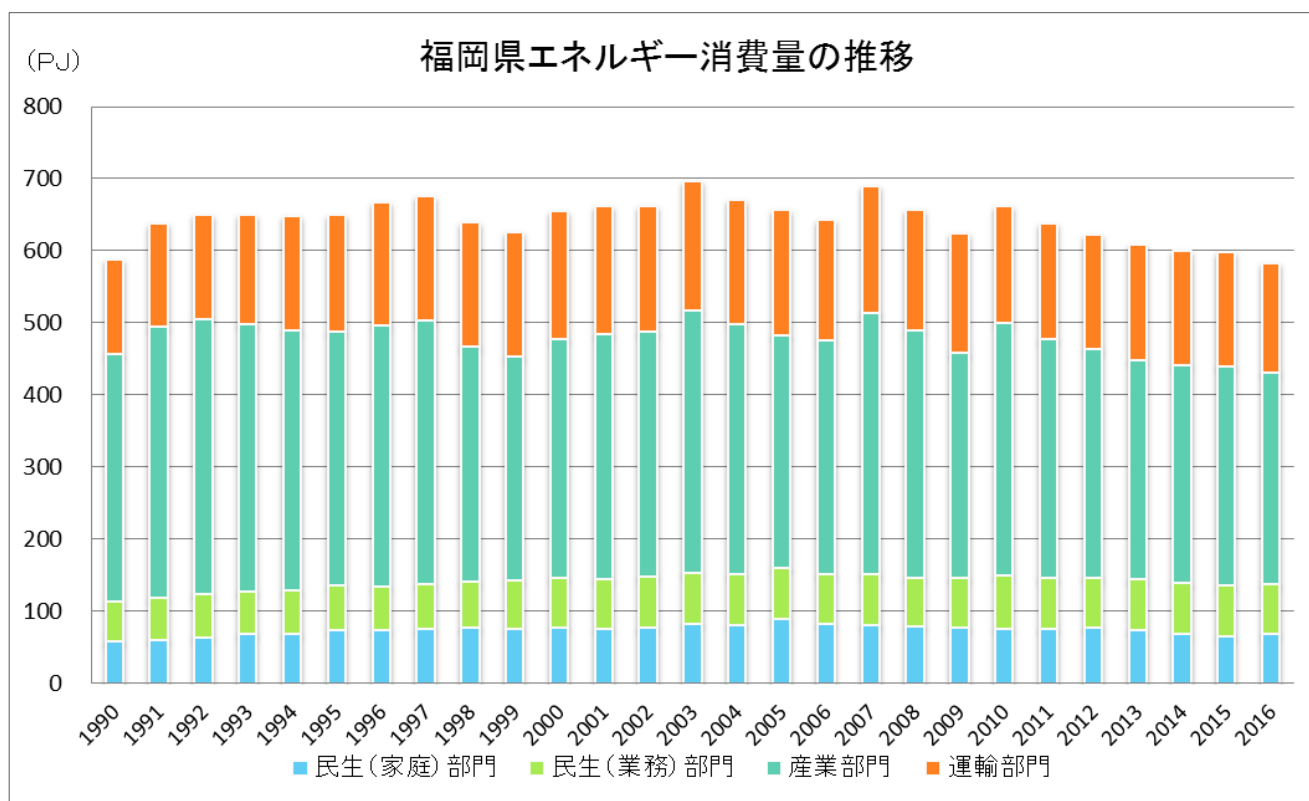


図-45 エネルギー消費量の推移（福岡県）

6. エコファミリー応援事業（福岡県委託事業）

6-1 業務の概要

福岡県では、家庭における地球温暖化対策を促進するため、省エネルギーや省資源に取り組む家庭を「エコファミリー」として登録・募集する「エコファミリー応援事業」を実施しています。

本業務は、この事業を円滑に推進するために、ポスターやチラシ、応援パスポート、エコチケットの作成、並びにこれらの配布、発送等の諸作業、エコファミリーのデータ入力、取組結果の効果分析などを行ったものです（図-46～48）。

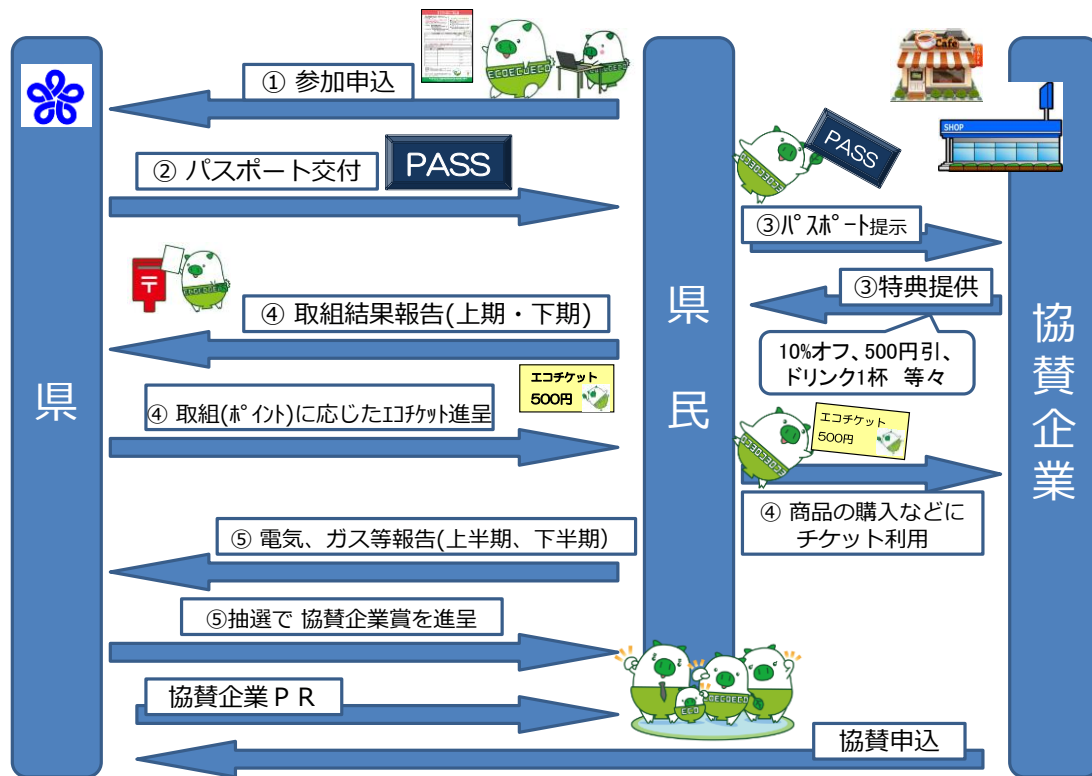


図-46 ふくおかエコライフ応援プロジェクト事業の概念図



図-47 応援パスポート



図-48 エコチケット

6-2 業務の実施結果

(1) エコファミリー参加・報告数

1) エコファミリー登録者数

平成 30 年度はセンター職員による商業施設店頭での街頭啓発、推進員による地域イベントでの募集活動、推進員による各種講座での募集活動等により、1,858 世帯の新規登録者数を得ました。

2) エコファミリー取組報告数

エコファミリーによる取組の報告数は、平成 29 年度下半期分が 758 件、5 つの取組報告は 448 件でした。また、平成 30 年度上半期分の 778 件、6 つの取組報告は 845 件でした。

(2) 節電効果

節電効果については、報告を受けた世帯のうち、前年度分との比較ができる世帯を対象に分析を行いました。その結果、29 年度下半期は 115,501kWh 増加、30 年度上半期は 13,754kWh 増加しました。節電を達成した世帯の割合は、それぞれ下半期が 16%、上半期が 30%でした。

(3) CO₂削減効果

CO₂削減効果については、各世帯のエネルギー使用量等（電気、ガス、水道、ガソリン、灯油、可燃ごみ）を前年度同期間と比較して分析しました。結果、29 年度下半期が 70,122kg-CO₂、30 年度上半期が 590kg-CO₂ 増加し、合計 70,712kg-CO₂ の増加となりました。

報告区分	CO ₂ 削減量	削減率 (%)	削減達成世帯率
29 年度下半期	70,122kg-CO ₂	+6.5%	17~49%
30 年度上半期	590kg-CO ₂	+0.1%	42~55%

(4) 今後の課題

1) エコファミリー登録拡大及び報告数増加のための方策について

毎年約 2,000 世帯の新規登録を目指して啓発・周知の取組を進めた結果、県内のエコファミリーの登録世帯数は年々増加していますが、取組報告は毎年 800 世帯と低迷しており、報告数の増幅は大きな課題です。

登録及び取組を実践・報告してもらうためには、報告方法を簡素化し、かつ報告のメリットを増やすこと、つまり報告に付与するポイントを増やすことが必要であり、とりわけ 6 つの取組報告については、報告用紙の字が小さくて読みにくい、書きにくいという意見があるため、記入する欄を大きくし、記入する事項をなるべく減らすことで見やすく、書きやすく報告しやすい紙面にすることも効果的です。

2) 家庭部門の二酸化炭素排出量を削減するための方策について

今年度のエコファミリーによる取組結果の報告では、平成 29 年度冬季の厳冬、30 年度夏季の猛暑により電気使用量が増加し、二酸化炭素排出量が昨年度比で増加となりました。天候に左右されずに家庭の省エネを実現するには、省エネ家電への買替を促進していくことが重要です。

7. 地域における地球温暖化防止活動促進事業（環境省補助事業）

今年度環境省の補助を受けて、国民運動である COOL CHOICE の普及啓発、推進員研修会の開催、うちエコ診断士派遣等を行いました。

7-1 地球温暖化対策の現状及び進捗状況に関する啓発・広報業務

(1) 環境エコ講座の開催

健康や食育等と地球温暖化対策をコラボレーションしたエコ出前講座を行い、日頃環境問題に関心が薄い層への普及啓発を行いました（図-52、53）。また講座内で COOL CHOICE に触れることで、国民運動である COOL CHOICE の普及啓発も図りました。

環境エコ出前講座は計 43 回開催し、受講者数は 1,945 名人でした（表-20）。

表-20 環境エコ講座の派遣実績

	実施日	申請団体	講師	会場	対象	参加者数 (人)
1	平成30年6月22日	大川市環境課	石橋 貞子	大川市役所	市民	24
2	平成30年6月28日	田口校区学童保育所	石橋 貞子	大川市役所	学童保育所 支援員	36
3	平成30年7月18日	道海島長寿会	荒木 フサエ	道海島長寿会	市民	21
4	平成30年8月6日	自由ヶ丘第一学童	久志 唯	自由ヶ丘小学童	児童・支援員	48
5	平成30年8月6日	自由ヶ丘第二学童	久志 唯	自由ヶ丘小学童	児童・支援員	59
6	平成30年8月8日	日の里東学童	久志 唯	日の里東小学童	児童・支援員	51
7	平成30年8月8日	日の里西学童	久志 唯	日の里西小学童	児童・支援員	68
8	平成30年8月9日	三又学童保育所	石橋 貞子	大川市役所	児童・支援員	27
9	平成30年8月9日	田口校区学童保育所	石橋 貞子	田口校区学童保 育所内	児童・支援員	48
10	平成30年8月10日	赤間西学童	久志 唯	赤間西学小学童	児童・支援員	79
11	平成30年8月21日	大野島学童保育所	石橋 貞子	大野島学童保 育所	小学生	21
12	平成30年8月21日	木室校区学童保育所	石橋 貞子	木室校区学童保 育所	小学生	48
13	平成30年8月22日	東郷小学校第二学童	田中 博之	東郷小学校第二 学童	小学生	48
14	平成30年8月23日	学童保育所 ひかり園	石橋 貞子	学童保育所 ひか り園	小学生	27
15	平成30年8月23日	河東小学校第二学童	田中 博之	河東小学校第二 学童	小学生	46
16	平成30年8月24日	学童保育所 太陽の家	石橋 貞子	学童保育所 太陽 の家	小学生	38
17	平成30年8月24日	道海島児童保育所	石橋 貞子	道海学童保育所	小学生	24
18	平成30年8月24日	河東小学校第一学童	田中 博之	河東小学校第一 学童	小学生	50
19	平成30年8月25日	古賀市	武田 京子	リーバスプラザこが 交流館	市民	21
20	平成30年8月27日	河東西小学校第二学童	田中 博之	河東西小学校第 二学童	小学生	19

	実施日	申請団体	講師	会場	対象	参加者数 (人)
21	平成30年8月28日	河東西小学校第一学童	田中 博之	河東西小学校第一学童	小学生	60
22	平成30年9月4日	福津市シニアクラブ連合会	丸尾 哲郎	福津市健康福祉総合センターふくとびあらくらくルーム	市民	50
23	平成30年9月15日	田川女性会議	中村 真弓	田川市男女共同参画センター	市民	20
24	平成30年9月25日	三国保育所	木下 綾子	三国保育所	園児	64
25	平成30年9月26日	八幡保育園	石橋 貞子	八幡保育園	園児	102
26	平成30年9月27日	小郡幼稚園	木下 綾子	小郡幼稚園	園児	42
27	平成30年10月18日	大川市健康を守る婦人の会	石橋 貞子	大川市環境課	市民	50
28	平成30年10月22日	青柳小学校	吉見 一郎	青柳小学校	小学4年生	47
29	平成30年10月23日	花見小学校	吉見 一郎	花見小学校	小学4年生	91
30	平成30年10月26日	花鶴小学校	吉見 一郎	花鶴小学校	小学4年生	117
31	平成30年10月29日	古賀西小学校	吉見 一郎	古賀西小学校	小学4年生	88
32	平成30年10月30日	舞の里小学校	吉見 一郎	舞の里小学校	小学4年生	62
33	平成30年10月31日	千鳥小学校	吉見 一郎	千鳥小学校	小学4年生	40
34	平成30年11月1日	小野小学校	吉見 一郎	小野小学校	小学4年生	53
35	平成30年12月4日	中津原保育所	鬼塚 やよい	中津原保育所	園児	51
36	平成30年12月5日	宮尾保育園	鬼塚 やよい	宮尾保育園	園児	37
37	平成30年12月6日	彩銅所保育所	鬼塚 やよい	彩銅所保育所	園児	27
38	平成30年12月11日	香春幼稚園	鬼塚 やよい	香春幼稚園	園児	19
39	平成30年12月12日	匂金保育園	鬼塚 やよい	匂金保育園	園児	29
40	平成30年12月13日	香春保育所	鬼塚 やよい	香春保育所	園児	33
41	平成31年1月13日	環境啓発団体	丸尾 哲郎	シーオーレ新宮	小学生 保護者	19
42	平成31年1月15日	三国幼稚園	木下 綾子	三国幼稚園	園児	30
43	平成31年2月14日	大刀洗町役場住民課生活環境係	吉川 昇	エコドライブ	大刀洗町職員	11
					計	1,945



図-52 環境エコ講座（古賀市）



図-53 環境エコ講座（大川市）

(2) 啓発パネルの作成

従来から利用していた啓発パネルについて、その情報更新を行ったほか、新規に COOL CHOICE のパネルを作製しました (図-54~56)。

作製後は各環境事務所に配備し、他のパネル同様貸出できるようにしました。

今年度は今回更新・作製したパネルを計 17 の地域イベントで掲示して、4,185 人の県民に新しい情報を啓発することができました (図-57~59)。

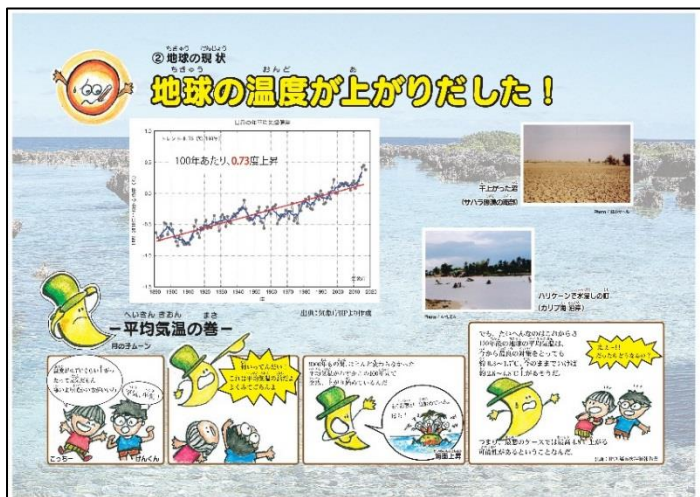


図-54 地球温暖化ってなんだろうのパネル

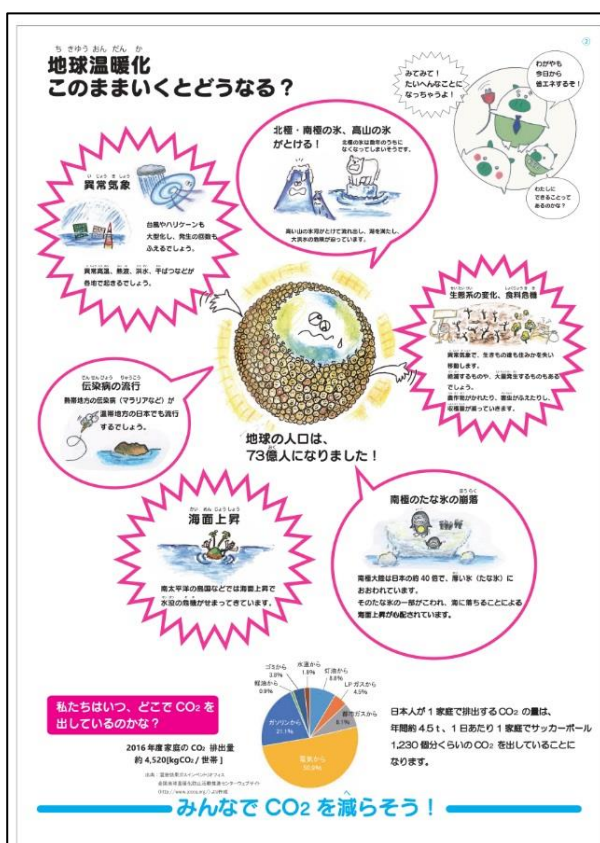
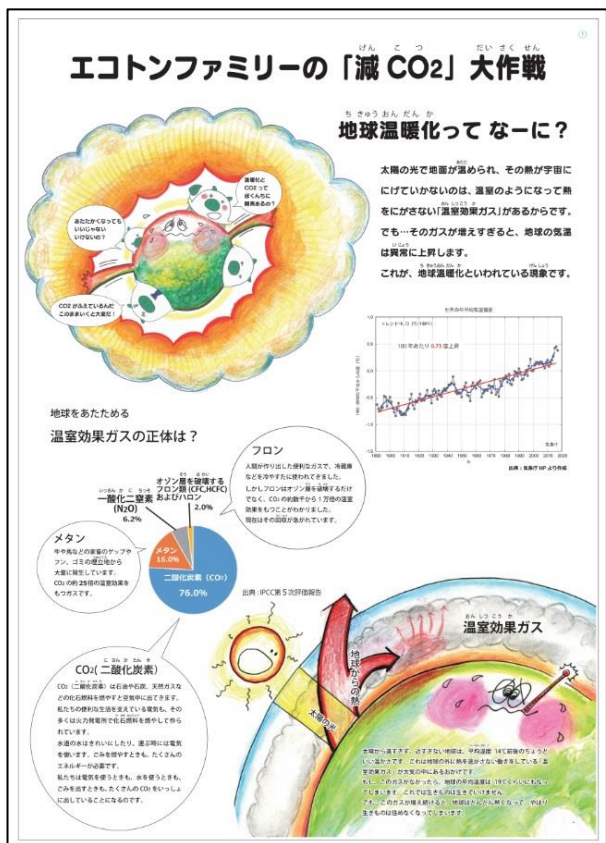


図-55 エコトンファミリーの「減 CO₂」大作戦のパネル

COOL CHOICE (かしこい選択) って？

気候変動の原因は、人間活動による温室効果ガスの排出といわれています。私たちの生活の見直しが必要です。でも決してガマンすることじゃありません！！

地球にやさしい=いまより快適

なことなのです。地球にやさしい行動をする=COOL CHOICE を実践し、快適な生活を送りましょう。

地球に優しいのはどっち？

COOL CHOICE!

BAD CHOICE!

- 1 体を温めるために最適な食事は？**

どっちがCOOL?

A

夏野菜に体温を下げる効果があるように、寒い時期にぴったりの食事もあります。その代表格が冬の風物詩でもある鍋。ただ単にあたかい食べ物であるというだけでなく、温気の加温効果で体温が上がり、みんながひとつの部屋に集まることで他の部屋のエネルギーも節約できます。

どっちがCOOL?

B

キウイフルーツの栄養成分は、冬野菜よりも劣ります。
- 2 地球に優しい食材選びのポイントは？**

どっちがCOOL?

A

旬の食材は一般的に安く栄養価が高く、ハウスで栽培を促して育てるなどの不要エネルギーもかかりません。また、食材が手元に届くまでの輸送距離（フードマイレージ）が長くなるほどCO₂が多く排出されてしまうので、なるべく食材も地産地消を心がけましょう。

どっちがCOOL?

B

遠くから運ばれた食材は、輸送に多くのエネルギーを消費します。
- 3 健康に配慮した家選びのポイントは？**

どっちがCOOL?

A

断熱効果の高い家は、健康にもメリットがあります。断熱性が高い住宅へ転居すると、アレルギーやアトピーの有病率が減少したというデータも。また、死亡者数が交通事故の3倍にのぼる入浴時の「ヒートショック」（急激な温度変化で体調を崩す症状）を防ぐ効果もあります。

どっちがCOOL?

B

外気温に近い室温の部屋を選ぶ。
- 4 環境のために、車は買い換えるべき？**

どっちがCOOL?

A

燃費の悪い車に買い換える。

どっちがCOOL?

B

燃費の悪い車に買い換える。

図-56 COOL CHOICE のパネル



図-57 エコトンファミリーの「減CO2大作戦」を使用したパネルクイズの様子（築上町）



図-58 地球温暖化ってなんだろう！を使用したパネルクイズの様子（宇美町）



図-59 COOL CHOICE パネルを使用したイベントの様子（みやま市）

(3) COOL CHOICE の紙芝居の作成

従来の紙芝居に、COOL CHOICE を普及する内容を加えた紙芝居（5枚追加）を作成しました（図-60、61）。作成に当たっては極力増やす枚数を少なくし、従来の紙芝居の流れから違和感を感じないように留意しました。

作製後は県内6地域の保健福祉環境事務所に配備し、他の紙芝居と同様に貸出できるようにしました。今年度は今回作成した紙芝居を計10箇所の園で使用、668人の子どもたちにCOOL CHOICEを啓発することができました（図-62、63）。



図-60 地球温暖化ってなあに？追加分



図-61 エコトンのちきゅうがたいへん！追加分



図-62 地球温暖化ってなあに？
を使用したエコ出前講座の様子（香春町）



図-63 エコトンのちきゅうがたいへん
を使用したエコ出前講座の様子（北九州市）

(4) COOL CHOICE 賛同票の回収

県内の環境イベントやエコ講座で賛同を呼びかけたほか、ふくおかエコライフ応援サイトからの応募もあり2,767人の賛同票を得ることができました（図-64）。

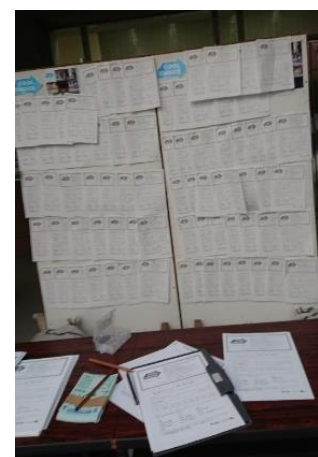


図-64 COOLCHOICE を呼びかける
ブース（大川市）

7-2 地域地球温暖化防止活動推進員の支援

推進員への支援として、推進員研修会・OJT研修の開催、推進員相談窓口の設置等を行い、推進員活動の更なる拡大を図りました。

(1) 推進員研修会の開催

国立環境研究所の肱岡靖明氏、福岡県環境部環境政策課の山本重一氏、福岡県環境部環境保全課の佛石圭介氏を講師にむかえ、「平成30年度福岡県地球温暖化防止活動推進員研修会」を開催しました（図-65）。

はじめに、肱岡氏より「気候変動による影響と適応策」と題し、迫りくる気候変動についてご説明いただき、今後の気候変動の影響への適応（適応策）についてお話いただきました（図-66）。

次に、山本氏より「SDGsと福岡県環境総合ビジョンとの関連について」と題し、福岡県環境総合ビジョンの施策面がどのSDGsに関係しているのか説明いただき、福岡県総合計画との関係性についてお話いただきました（図-67）。

最後に佛石氏より「福岡県地球温暖化対策計画」と題し、福岡県地球温暖化対策計画及び温暖化の状況をご説明いただき、福岡県地球温暖化対策計画の推進体制における推進員としての役割についてお話しいただきました（図-68）。

開催日時：平成30年9月28日（金）13:30～16:20

参加数：計61名（推進員34名、NPO法人5名、行政18名、その他4名）

講演：「気候変動による影響と適応策について」

国立研究開発法人 国立環境研究所 社会環境システム研究センター
地域環境影響評価研究室室長 肱岡 靖明氏

「SDGsと福岡県環境総合ビジョンとの関連について」

福岡県環境部環境政策課 参事補佐 山本 重一氏

「福岡県地球温暖化対策計画について」

福岡県環境部環境保全課 地球温暖化対策係長 佛石 圭介氏



図-65 全体の様子



図-66 講師：肱岡 靖明氏



図-67 講師：山本 重一氏



図-68 講師：佛石 圭介氏

(2) 推進員対象 OJT 研修

講師経験の少ない推進員が、希望により他の推進員の講座の様子を見学することでそのノウハウを学ぶ OJT 研修を行ないました。今年度の参加者数は延べ 2 人でした。

(3) 推進員相談窓口の設置

県センターに推進員相談窓口を設置し、推進員活動に関する疑問、課題等について個別に相談を受け付け対応しました。今年度の利用者数は 7 名でした。

(4) 地域への広報

推進員が市町村担当者とともに地域の幼稚園、保育園等を訪問し、活動内容を理解していただくことで、エコ出前講座等の活動を促進することができました。今年度は 6 施設に訪問しました。

7-3 日常生活に関する温室効果ガス排出抑制措置等についての相談対応、助言

(1) うちエコ診断の概要

各家庭のライフスタイルに応じた効果的なCO₂削減方法の提案を行うことで、福岡県内における家庭部門温室効果ガス削減対策、及び具体的な削減行動を促すことを目的としてうちエコ診断事業に取組みました。

今年度のうちエコ診断は、平成30年8月16日から平成31年1月12日までの期間で実施し、診断実施件数は100件（計画比100%）でした（表-21）。

表-21 うちエコ診断派遣実績

日付	診断場所	診断士	診断数	方法
8月16日	飯塚市「クールシェアいづか」	中村 真弓	2	会場
8月16日	飯塚市「クールシェアいづか」	吉谷 勝裕	1	会場
8月17日	飯塚市「クールシェアいづか」	中村 真弓	2	会場
8月17日	飯塚市「クールシェアいづか」	吉谷 勝裕	1	会場
8月20日	福岡市東区	吉見 一郎	1	窓口診断
8月22日	福岡市西区	森 博史	1	訪問
9月19日	古賀市うちエコ診断会	吉見 一郎	1	会場
9月20日	古賀市うちエコ診断会	吉見 一郎	4	会場
9月21日	古賀市うちエコ診断会	吉見一郎	4	会場
9月21日	古賀市うちエコ診断会	占部美保	3	会場
9月21日	古賀市うちエコ診断会	丸尾哲郎	2	会場
9月27日	古賀市うちエコ診断会	吉見 一郎	1	会場
10月20日	福岡市「福岡市環境フェスティバル」	吉谷 勝裕	2	会場
10月20日	福岡市「福岡市環境フェスティバル」	宮崎 文雄	2	会場
10月21日	福岡市「福岡市環境フェスティバル」	小池 敦子	2	会場
10月21日	福岡市「福岡市環境フェスティバル」	太田能史	1	会場
10月21日	古賀市「古賀市健康福祉祭り」	吉見 一郎	6	会場
11月4日	飯塚市「エコ工房まつり」	中村 真弓	5	会場
11月4日	飯塚市「エコ工房まつり」	森 博史	4	会場
11月4日	八女市「エコキャンペーン」	石橋 貞子	6	会場
11月10日	新宮町	吉見 一郎	1	訪問
11月11日	飯塚市「イオン穂波店」	中村 真弓	2	会場
11月11日	筑後市「健康と食育の祭典&環境フェスタ」	大山勉	4	会場
11月12日	古賀市「古賀市健康福祉祭り」	吉見 一郎	1	会場
11月18日	小竹町「小竹町民まつり」	太田 能史	7	会場
11月18日	小竹町「小竹町民まつり」	リース香織	3	会場
11月18日	古賀市「まつり古賀」	吉見 一郎	6	会場
11月18日	古賀市「まつり古賀」	丸尾 哲郎	3	会場
11月23日	宗像市「環境フェスタ2018」	越智 信雄	5	会場
11月24日	わかばエコ化大作戦	岩崎慎平	1	会場
11月24日	わかばエコ化大作戦	坂本真希	2	会場
11月27日	新宮町うちエコ診断会	梅崎 由美子	2	会場
11月28日	新宮町うちエコ診断会	梅崎 由美子	1	会場
11月29日	粕屋郡宇美町	中村 真弓	1	訪問
11月30日	新宮町うちエコ診断会	梅崎 由美子	2	会場
12月2日	那珂川市「第13環境フェアin なかがわ」	案浦 浩二	2	会場
12月3日	古賀市「まつり古賀」	丸尾 哲郎	1	会場
12月7日	古賀市「古賀市健康福祉祭り」	吉見 一郎	1	会場
12月8日	飯塚市「イオン穂波店」	中村 真弓	1	会場
12月19日	古賀市	吉見 一郎	1	訪問
1月12日	飯塚市「イオン穂波店」	中村 真弓	2	会場

診断実施合計件数 100 件
(うち訪問4件)

(2) うちエコ診断受診希望者の募集

古賀市、新宮町などの協力自治体との連携による診断会の実施、県内で行われた環境に関するイベント会場において診断会を実施しました。(図-69、70)。



図-69 うちエコ診断会（古賀市）



図-70 簡易うちエコ診断（まつり古賀）

(3) うちエコ診断士フォローアップ研修会開催

登録しているうちエコ診断士 31 名中 15 名に対して、フォローアップ研修会を実施しました。フォローアップ研修会では、平成 29 年度の診断実施実績・結果と平成 30 年度の診断実施予定を事務局より説明するとともに、ロールプレイングを実施し、うちエコ診断ソフトの使い方や診断時の時間配分について再度確認を行いました(図-71)。

また、本研修ではうちエコ診断士の診断力の向上を目的に、診断士同士でのグループワークを行いました(図-72)。

開催日時 : 平成 30 年 9 月 7 日 (金) 13:30~17:00

参加者 : 15 名

研修内容 : オリエンテーション、相互診断、グループワーク

テーマ : ①省エネをすでに高いレベルで行っている方へのアドバイスについて
②事後調査票の回収率を向上させるために診断士がすべきことについて
③地域イベント時において受診者数を確保するために診断士がすべきことについて



図-71 ロールプレイングの様子



図-72 グループワークの様子

(4) 事業の実績及び効果

うちエコ診断実施後に、受診者に対して事後調査票を送付し、41件を回収しました（回収率41%）。調査票の内容を分析して、うちエコ診断によるCO₂削減効果を推計した結果、年間47.3tのCO₂削減量が見込まれました（図-73）。

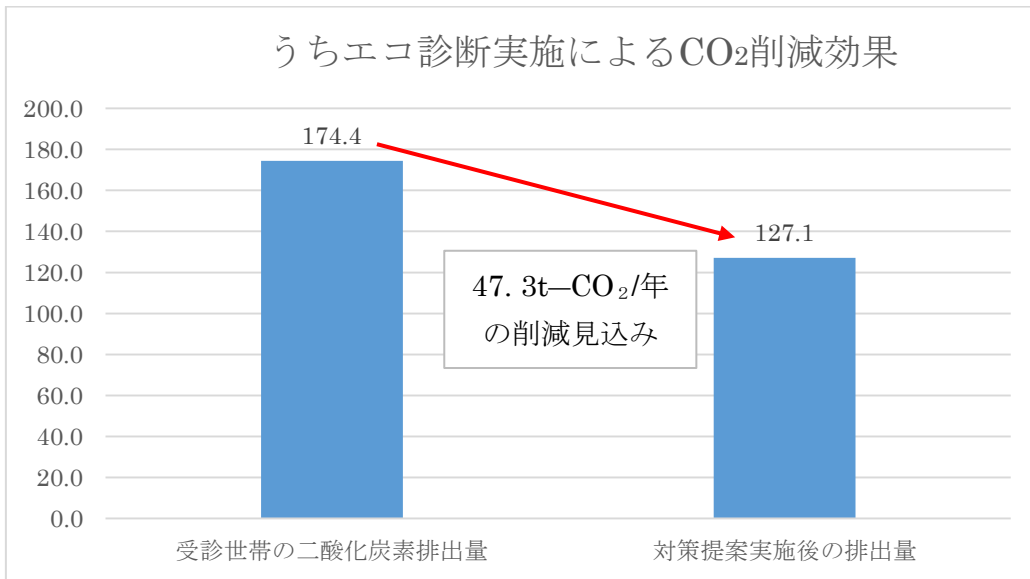


図-73 うちエコ診断取組結果

8. 平成 30 年度福岡県地球温暖化防止活動推進センター事業結果(総括)

平成 30 年度における県センター事業の普及啓発人数は 22,994 人、啓発活動を行ったことによるみなし CO₂ 排出量削減量は 2,898 t-CO₂/年でした(表-22)。

表-22 県センター事業総括

区 分	事 業 内 容	対象人数、 世帯数等(件数)	CO ₂ 排出量 削減効果 (t-CO ₂ /年)	備 考	
福岡県 事業	推進員連絡会活動の支援	福岡・筑紫地域の推進員活動	1,115人 (5件)	153.9	CO ₂ 排出量の削減効果は、直接啓発人数に原単位(0.138t-CO ₂ /年・人:平成28年度基盤形成事業委託報告書より設定)を乗じて推計:(A)
		宗像・遠賀地域の推進員活動	3,146人 (16件)	434.1	
		北九州・京築地域の推進員活動	1,980人 (5件)	273.2	
		筑豊地域の推進員活動	1,121人 (18件)	154.7	
		久留米・北筑後地域の推進員活動	2,470人 (7件)	340.9	
		大牟田・南筑後地域の推進員活動	1,835人 (9件)	253.2	
		<小計>	11,667人 (60件)	1,610.0	
	環境マイスター派遣	大学、企業等対象	548人 (23件)	75.6	Aの方法による推計
	エコアドバイザー派遣	小学校、一般県民等対象	4,041人 (65件)	557.7	Aの方法による推計
		三世代まるごとエコ出前講座	3,042人 (51件)	217.4	ふくおか子ども環境家計簿(食育編)の省エネ行動実施状況から推計
うちエコ診断士派遣	うちエコ診断の実施	19世帯	7.9	事後調査票回答結果より推計	
子ども環境家計簿の配布・回収	子ども環境家計簿の取組	1,632世帯	113.3	ふくおか子ども環境家計簿(通常版)の省エネ行動実施状況から推計	
環境省 補助事 業	地域における地球温暖化防止活動促進事業	環境家計簿学習会の開催	1,945人 (43件)	268.4	Aの方法による推計
	低炭素ライフスタイル構築に向けた診断促進事業	うちエコ診断の実施	100世帯	47.3	事後調査票回答結果より推計
合計		22,994 (242回)	2,898		